arkray

自己検査用グルコース測定器

GLUCOCARD™

G+meter

グルコカード™ G+メーター

GT-1820 取扱説明書

ご使用前は必ずこの取扱説明書を読み、
主治医の指導にしたがってください。

1 はじめに

このたびは、グルコカード　G＋メーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、グルコカード　G＋メーターを使って血糖値を測定するための操作方法と注意点が書かれています。
- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しい操作で血糖値を測定してください。
- あわせて、自己検査用グルコースキット「Gセンサー*」と採血器具の添付文書および取扱説明書もお読みになり、注意事項をお守りください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せる場所に保管してください。

EMC 適合

本測定器は、EMC 適合規格JIS C1806-1:2001に適合しています。
特記事項：　エミッションの分類　　クラスB

＊体外診断用医薬品承認番号21400AMZ00483000

・化粧箱および取扱説明書のグルコカード　G＋メーターのイラスト表示は簡略化してありますので、実際とは異なります。

©2007　アークレイ株式会社

表記記号について

この取扱説明書では、注意していただきたい事項に以下の表記記号をつけています。

警告 記載事項を守らないと、使用者または周囲の人が命の危険にさらされることがあります。

注意 記載事項を守らないと、使用者または周囲の人がけがをしたり、物的損傷を受けたり、正しい測定結果を得られなかったりすることがあります。

重要 正しい操作と測定のために、おぼえておいていただきたい情報です。測定器の故障につながる取り扱い、正しい測定結果を得られない原因、および機能の正しい使用方法について記載しています。

参考 知っておくと便利な情報が記載されています。

もくじ

はじめに

はじめに....1
表記記号について....2
もくじ....3
説明の流れ....5

使用上の注意

使用上の注意....7

準備

グルコカード　G＋メーターとは....19
各部の名称....20
梱包品の確認....21
血糖値の測定に必要なもの（別売品）....22
Gセンサーについて....23
採血器具....24

測定

血糖値の測定....25

便利な機能

記憶データを呼び出す....41
記憶データをすべて消去する....45
測定結果にマークを付ける....47
食事開始時刻を記憶させる....50
アラーム時刻を設定する....54
各種機能の設定....58
設定モード（SEt）に切り替える....59
設定画面の流れ....61
ブザー音の設定....63
日付時刻の設定....64
時刻表示タイプの設定....67
平均値表示の設定....68
食事開始時刻記憶の設定....69
アラームの設定....70
日付時刻表示の設定....72
設定の終了....73
電源が切れているときの表示部....74
電池を交換する....75
時計バックアップ機能について....80

コントロール液を用いた精度確認.....81

困ったときは

操作方法に困ったときは.....91
表示部に表示される記号・マーク.....105
エラーの原因と対応方法.....122

仕様.....125
保証規定.....127
索引.....128

説明の流れ

この取扱説明書は、6つの章で構成されています。

グルコカード　G＋メーターを正しくお使いいただくためには、すべてをお読みいただくことが大切ですが、「使用上の注意」「準備」「測定」の章は必ずお読みください。

製品の仕様、保証規定、索引は、この取扱説明書の最後に記載しています。ご参考にお読みください。

はじめに	この取扱説明書について説明しています。	P1～6
使用上の注意	安全にお使いいただくための注意事項です。ご使用前に必ずお読みください。	P7～18
準　備	測定の準備について説明しています。必ずお読みください。	P19～24
測　定	血糖値の正しい測定方法について説明しています。必ずお読みください。	P25～40
便利な機能	過去の測定結果の呼び出しや各種設定など便利な機能についての説明です。	P41～90
困ったときは	思いどおりに操作できないときやエラーが発生したときにお読みください。	P91～124

7 使用上の注意

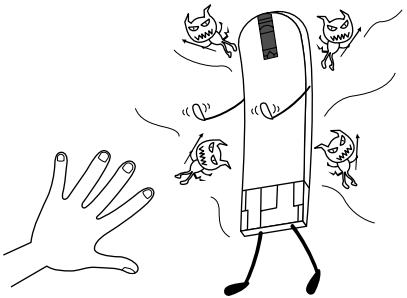
グルコカード　G＋メーターを正しく、安全にお使いいただくために守っていただきたいことを以下に示します。

警告

実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。〔その偽高値に基づいてインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがあります。〕

- **キシロース吸収試験を実施中の患者**
- **プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者**

グルコカード　G＋メーターは、原則として患者自身が自宅などで血糖を測定する場合に使用してください。

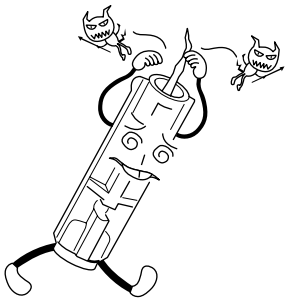


警告

血糖値を測定したあとのGセンサーには血液が付着しています。病原微生物などの感染を防ぐために、他の人に触れないように廃棄してください。

警告

Gセンサー、採血針、電池は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲みこんだときは、すぐに医師に相談してください。

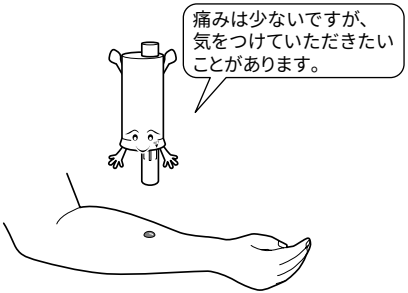


警告

感染の危険がありますので、一度使った採血針は必ず廃棄してください（詳しくは採血針の添付文書をお読みください）。

警告

使用済みの採血針には血液が付着しています。病原微生物などの感染を防ぐために、他の人に触れないように廃棄してください（詳しくは採血針の添付文書をお読みください）。

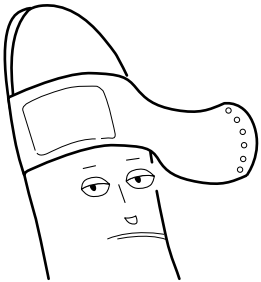


警告

前腕用採血器具をご使用いただくことで、前腕からの採血による測定ができますが、右のようなときには、指先から採血をしてください。

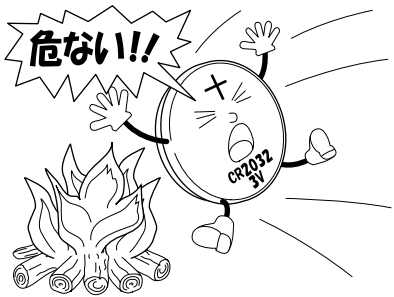
- 発汗/冷や汗、浮揚感、震えなど低血糖の症状があるとき
- 血糖低下状態で、すぐに低血糖かどうか知る必要があるとき
- 運動のあとなど、血糖値が急激に変化する可能性のあるとき
- かぜをひいたときなど、体調のすぐれないとき

重要 **急激な血糖の変動が認められるとき、「前腕の血糖変動は指先よりも遅れることがある」という報告があります。**



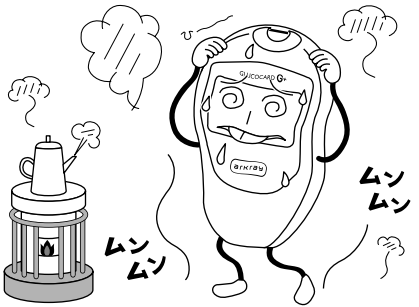
警告

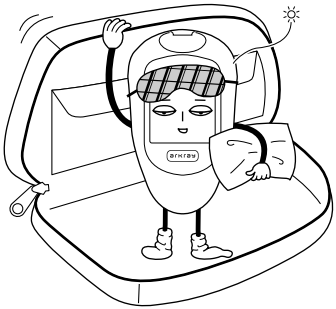
感染の危険がありますので、採血部位の消毒を必ず行ってください。また、必要に応じて採血後はばんそうこうなどで止血および保護をしてください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。



警告

使用済みの電池を加熱したり、火に投げ入れたりしないでください。破裂してけがを負うおそれがあります





注意

グルコカード　G＋メーターとGセンサーを収納ケースから取り出し、温度10～40℃、湿度20～80%の環境に20分～30分以上なじませてから測定をしてください。グルコカード　G＋メーターを移動した場合は、温度差が大きいほどなじむまでの時間が必要です。なじんでいない場合、温度補正が正常に行われないため正しい測定結果が得られません。また、温度変化の激しいところや湿度の高いところでは、グルコカード　G＋メーター内部に水滴が発生して正しい測定結果が得られません。グルコカード　G＋メーターは、0～50℃の環境で保管してください。

注意

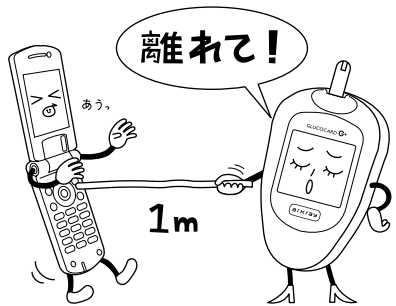
センサー挿入口の周辺を持たないでください。この周辺には、温度補正をすることによって測定誤差を小さくするための温度センサーが内蔵されています。手のぬくもりの影響で、正しい測定結果が得られません。

注意

センサー挿入口に、血液や水分、ほこりなどを入れないでください。正しい測定結果が得られなかったり、作動しなくなる原因になります。グルコカード　G＋メーターが汚れたときは、水で湿らせたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。消毒液などを付けて強くふくと、表示部に傷がつくおそれがあります。

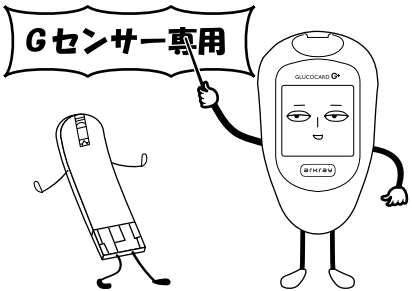
注意

水中に落としたり、内部に水分が流入したグルコカード　G＋メーターは、たとえ乾燥させたあとでも使用しないでください。正しい測定結果が得られなかったり、グルコカード　G＋メーターが誤動作することがあります。



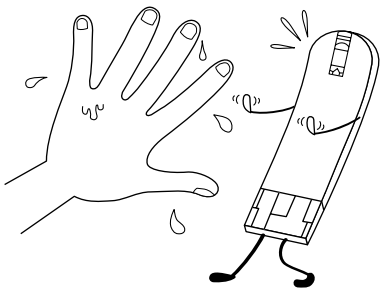
注意

テレビ、電子レンジ、携帯電話、低（高）周波治療器などの電磁波を発生する電子機器の近くでは、正しい測定結果が得られないことがあります。電子機器の電源を切るか、または電子機器から1ｍ以上離して測定してください。



注意

測定には、必ずグルコカード　G＋メーター専用センサー「Gセンサー」をご使用ください。他のセンサーでは測定できません。また、センサー挿入口に他のセンサーを無理やり差し込まないでください。故障の原因となります。



注意

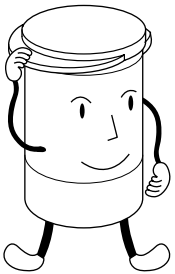
Gセンサーをボトルから出して長時間放置したり、手で持ったままにしないでください。また、濡れたり汚れたりした手で持たないでください。正しい測定結果が得られません。

注意

一度、血液またはコントロール液を吸引させたGセンサーは使用しないでください。正しい測定結果が得られません。

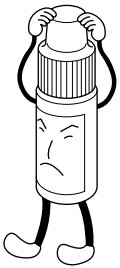
注意

使用期限の過ぎたGセンサーは使用しないでください。また、開封してから3ヶ月を経過したボトルのGセンサーは使用しないでください。正しい測定結果が得られません。



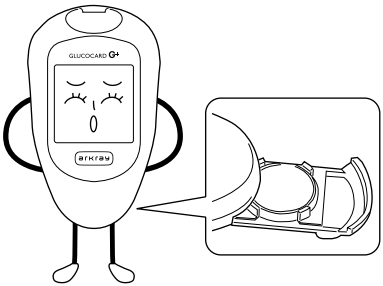
注意

ボトルからGセンサーを取り出したら、すぐにボトルのふたを閉めてください。ふたが開いたまま保存されていたGセンサーを使用すると、正しい測定結果が得られないことがあります。ふたが開いていた場合は、新しいボトルのGセンサーで測定してください。



注意

コントロール液のふたはしっかりと閉めて保存してください。ふたがゆるんでいると、正しい測定結果が得られません。



注意

電池は正しい向きに入れてください。作動しないだけでなく、時刻の設定がリセットされることがあります。

グルコカード　G＋メーターとは

グルコカード　G＋メーターは、血糖値を自己管理するための自己検査用グルコース測定器です。グルコカード　G＋メーターには以下の特長があります。

●補正操作の必要がないため、すぐに測定をはじめることができます。
●わずか0.6 μLの血液で測定できます。
●血液を吸引すると自動的に測定がはじまり、5.5秒で測定結果が表示されます。
●表示部が大きいため、測定結果がひと目でわかります。
●廃棄レバーにより、手で触れることなくGセンサーを廃棄できます。
●450回分の測定結果を記憶でき、あとで呼び出すことができます。
●操作ボタンを使って食後の血糖値に食後マークをつけることができます。また、食事開始時刻を記憶させ、食事開始からの経過時間を画面に表示することができます。
●アラーム時刻を設定することにより、測定時間をブザーでお知らせします。

そのほかにも便利な機能があります（58ページ参照）。

各部の名称

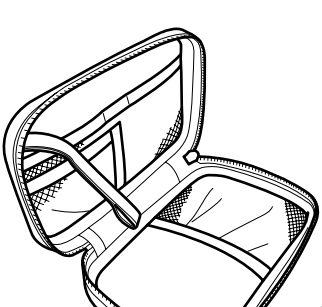
この取扱説明書では、グルコカード　G＋メーターの各部を以下のように呼びます。

おもて面

うら面

21 梱包品の確認

グルコカード　G＋メーターの箱の中には、以下のものが入っています。これらがすべてそろっていることを確認してください。



収納ケース

グルコカード　G＋メーター

添付文書

取扱説明書

保証書・
保証書登録カード

個人情報保護シール

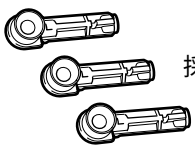
参考　グルコカード　G＋メーターには出荷時に電池が装填されており、日付と時刻も設定済みです。

参考　必要であれば日付と時刻を設定しなおすことができます（64ページ参照）。

血糖値の測定に必要なもの（別売品）

血糖値を測定するには、グルコカード　G＋メーターのほかに、以下のもの（別売品）を準備してください。

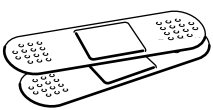
Gセンサー



採血針

採血器具

消毒綿

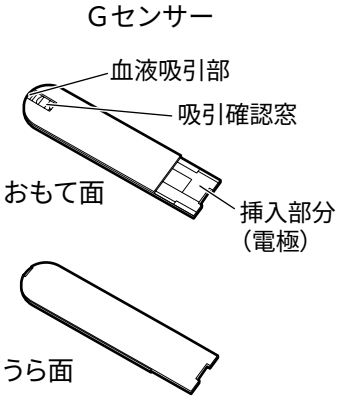


ばんそうこう

重要 **Gセンサーと採血針は、使用期限内のものをご用意ください。**

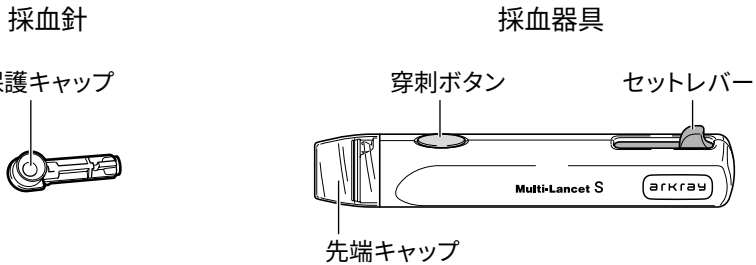
Gセンサーについて

Gセンサーはグルコカード　G＋メーターおよびグルコカード　Gメーター専用のセンサーです。Gセンサーの添付文書をよく読んでからお使いください。



重要 **測定原理については、Gセンサーの添付文書をお読みください。**

採血器具



重要 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、低値を示すことがあります。

・脱水状態　・ショック状態　・末梢循環障害

重要 詳しい取り扱い方法については、採血器具および採血針の添付文書および取扱説明書をお読みください。

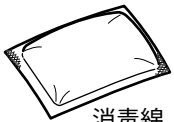
参考 弊社では各種の採血器具をご用意しております。
また、対応する各種採血針もご用意しております。

血糖値の測定

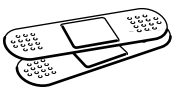
指先から採血し、グルコカード　G＋メーターで血糖値を測定する方法を説明します。まず、以下のものを準備してください。

グルコカード　G＋メーター

Gセンサー



消毒綿



ばんそうこう

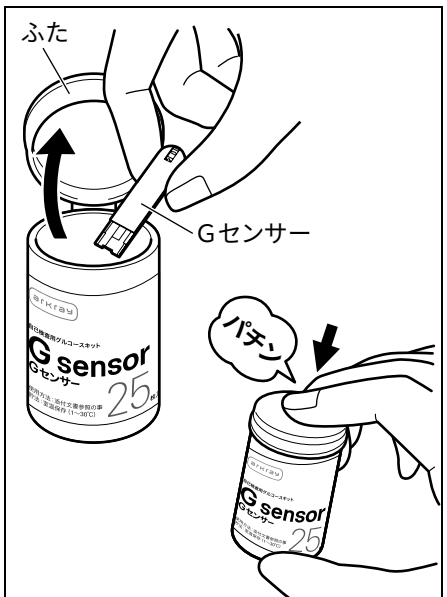
手帳
（自己管理ノートなど）

採血器具

採血針

重要 **採血器具と採血針の取り扱い方法については、それぞれの添付文書および取扱説明書をお読みください。**

1 Gセンサーを取り出す

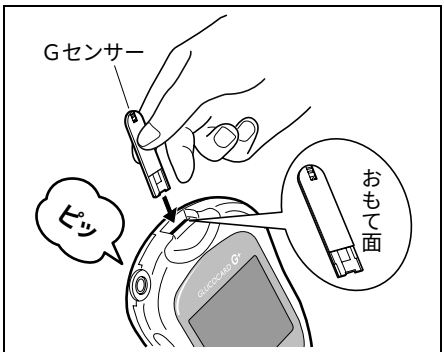


●ボトルのふたを開け、Gセンサーを1枚取り出します。取り出したあとは、すぐにふたを閉めます。

重要 **Gセンサーをボトルから出して長時間放置したり、手で持ったままにしないでください。また、濡れたり汚れたりした手で持たないでください。正しい測定結果が得られません。または、エラーが発生する可能性があります。**

重要 **Gセンサーは湿気に弱いため、ボトルから取り出したらすぐにふたを閉めてください。正しい測定結果が得られなくなります。または、エラーが発生する可能性があります。**

2 Gセンサーを差し込む



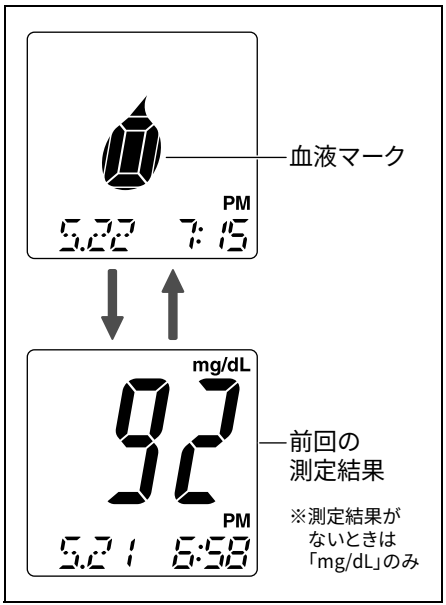
●Gセンサーのおもて面を手前にして、センサー挿入口の奥までしっかりと差し込みます。

●「ピッ」とブザーが鳴って電源が入り、左下図のように表示部が全表示します。

重要 **この画面の表示中は G センサーに血液を接触させないでください。「E-8」が表示され測定できません。**

重要 **Gセンサーを裏向きに差し込むと、「ピー」と長いブザーが鳴り、「E-6」が表示されます。いったん抜いてから、正しい向きで差し込んでください。**

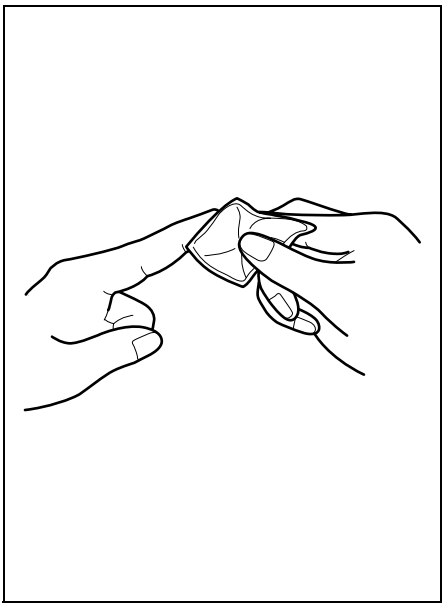
3 表示部を確認する



●もう一度、「ピッ」とブザーが鳴り、血液マーク（）と前回の測定結果が交互に表示されているのを確認します。

参考 **はじめて使用するときなど、前回の測定結果がないときは、測定結果は表示されず、血液マーク（）と単位（mg/dL）が交互に表示されます。**

4 手を洗う



●流水で必ず手を洗ってください。

重要 **果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、高値を示すおそれがあります。**

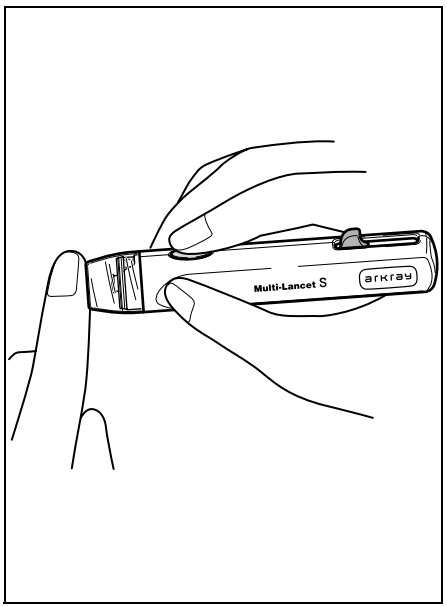
●採血する指先を消毒綿で消毒して十分に乾燥させます。

警告

感染の危険がありますので、採血部位を必ず消毒してください。

重要 **採血部位を十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合は、正しい測定結果が得られません。**

5 採血をする

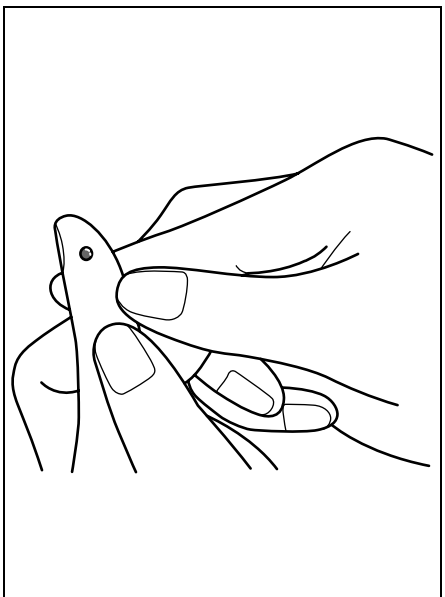


●採血器具に採血針をセットします。詳しくは採血器具の取扱説明書をお読みください。

●採血針の先端を指にあてて刺し、小さな傷をつくります。採血針は一瞬だけ皮膚を刺し、自動的にもどります。

警告

感染の危険がありますので、一度使用した採血針は必ず廃棄してください。



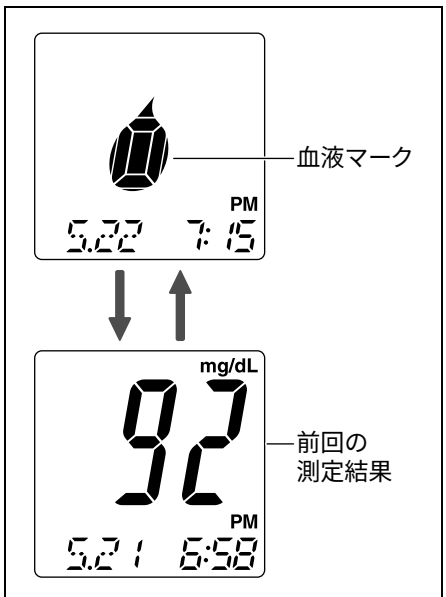
●刺し傷をつけたまわりを軽く押し、ゴマ粒大の血液を出します。

〈血液量の目安〉
直径1.5 mmあれば測定可能

●

参考 **血液の出が悪いときは、あらかじめ採血する部位を温めたり、マッサージをしたりして、血行を良くしてから採血してください。**

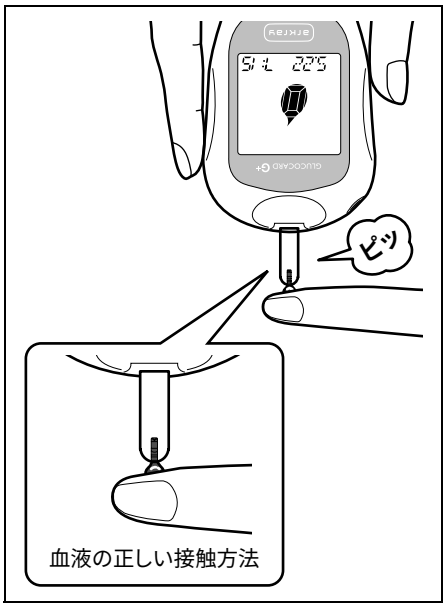
6 表示部を再確認する



●もう一度、血液マーク（ ）と前回の測定結果が交互に表示されていることを確認します。

参考 **Gセンサーを差しこんでから5分がすぎると、「ピピッ」とブザーが鳴って電源が切れ、何も表示されなくなります。このときは、Gセンサーを抜き取り、もう一度、差し込むと電源が入ります。**

7 血液に接触させる

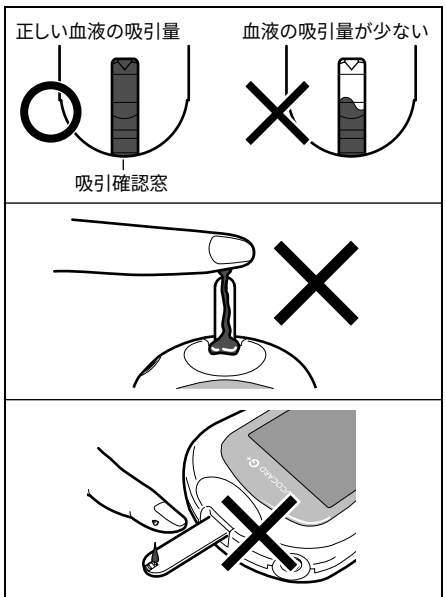


●Gセンサーの先端が下にくるようにグルコカード　G＋メーターを持ちます。

●Gセンサーの先端に指をもっていき、Gセンサーの先端部分に血液を接触させます。

●吸引確認窓の全面が赤くなるまで十分に血液を吸引させます（次ページ最初の **重要** を参照）。

●「ピッ」とブザーが鳴ったら、指をはなします。このあと自動的に測定が開始します。

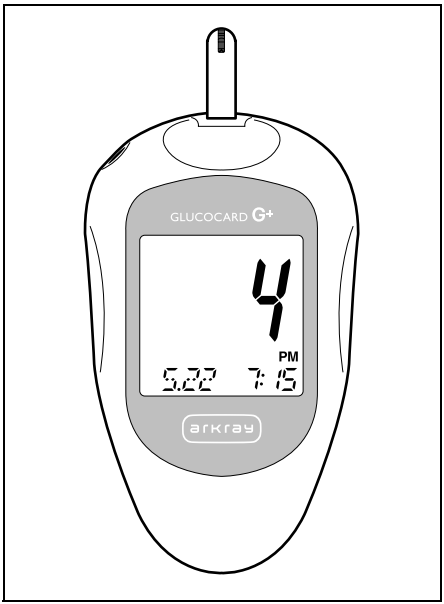


重要 **血液の吸引量が不足すると、「ピー」と長いブザーが鳴り、「E-9」が表示され、測定できません。この場合は、新しいGセンサーを差し込み、十分な量の血液を吸引させてください。**

重要 **G センサーの先端を上向きにした状態で血液に接触させないでください。採血した血液が多い場合にセンサー挿入口から測定器内部に血液が流入し、故障の原因となります。**

重要 **G センサーの吸引確認窓の上から血液を接触させても測定できません。必ずGセンサーの先端を血液に接触させてください。**

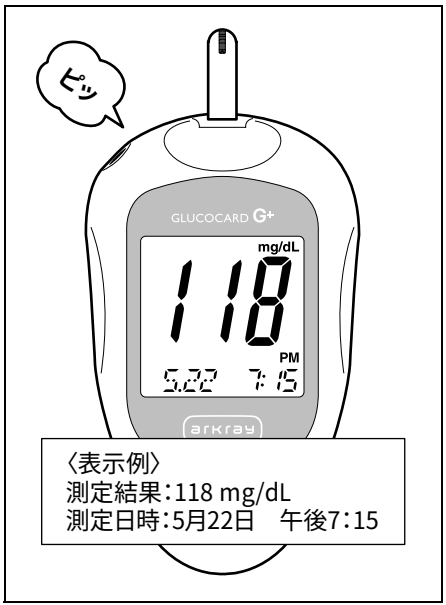
8 測定中の表示



●測定終了までの時間（4秒～）がカウントダウン表示されます。

重要 **測定結果が表示されるまで、Gセンサーを抜かないでください。**

9 測定結果を確認する



〈表示例〉
測定結果：118 mg/dL
測定日時：5月22日　午後7：15

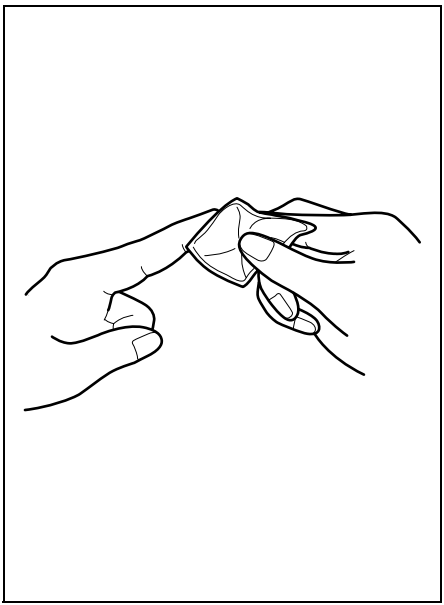
●5.5秒後に「ピッ」とブザーが鳴り、測定結果が表示されます。測定結果と測定日時は自動的にグルコカード　G＋メーターに記憶されます。

重要 **「Lo」または「Hi」と表示されたときは、新しいGセンサーを使って、測定をやり直してください。再び「Lo」「Hi」が表示されるときは、症状がいちじるしく悪化している可能性があります。すぐにかかりつけの医師に相談してください。**

重要 **測定結果に食後マーク（ヨ）またはデリートマーク（DEL）を付けることができます（47ページ参照）。**

参考 **過去の測定結果を呼び出すこともできます（41ページ参照）。**

10 採血部位を消毒する

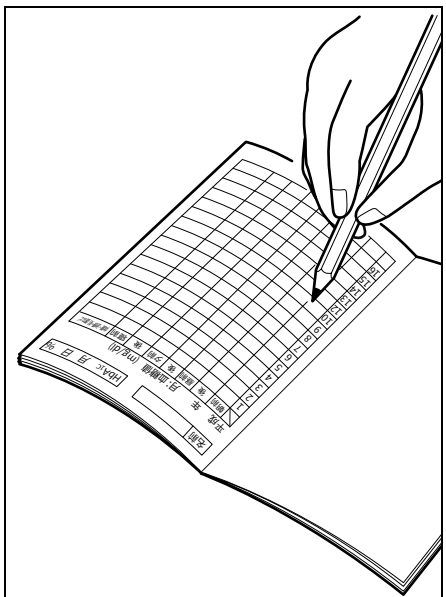


●採血した部位を、消毒綿などで消毒します。

警告

感染の危険があるため、採血部位の消毒を必ず行ってください。また、必要に応じてばんそうこうなどで止血および保護をしてください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。

11 測定結果を記録する



●測定結果を手帳（自己管理ノートなど）に記録します。

重要 **測定結果をかかりつけの医師に報告し、今後の治療方針について相談してください。**

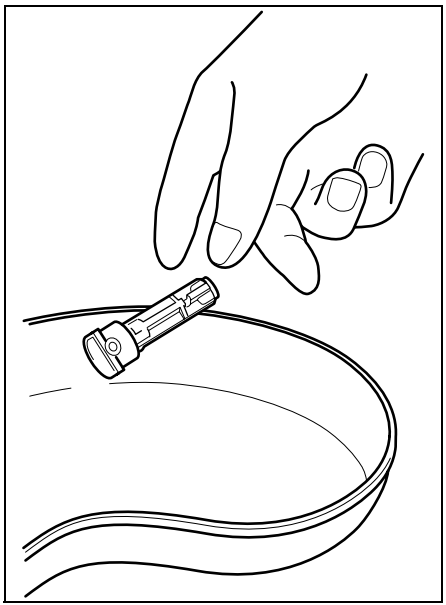
12 Gセンサーを捨てる

●廃棄レバーをスライドさせ、使用済みのGセンサーをはずします。電源が自動的に切れます。

警告

病原微生物などの感染を防ぐため、血液が付着したGセンサーは、他の人に触れないように廃棄してください。

13 採血針を捨てる



●採血器具から採血針をはずします。

●かかりつけの医師の指導にしたがって、採血針を廃棄します。

警告

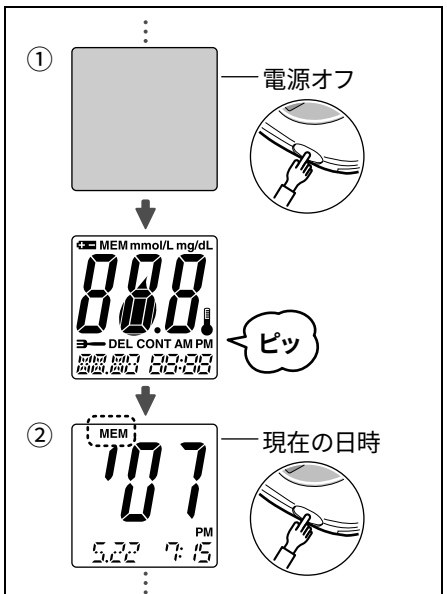
病原微生物などの感染を防ぐため、使用済みの採血針は、他の人に触れないようにしてください。また、かかりつけの医師の指導にしたがって廃棄してください。

重要 **採血器具と採血針の取り扱い方法については、それぞれの添付文書および取扱説明書をお読みください。**

41 記憶データを呼び出す

グルコカード　G＋メーターには血糖値測定結果、コントロール液測定結果、食事開始時刻記憶データ（50ページ参照）をあわせて最大450件分が自動的に記憶されます。記憶されたデータは新しいものから順に表示できます。

参考 450件を超えた場合は、古い記憶データから順に消去されます。



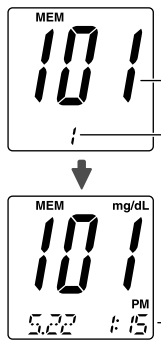
①電源が切れていることを確認し、操作ボタンを押して、すぐにはなします。「ピッ」とブザーが鳴って電源が入り、表示部が全表示します。

重要 **操作ボタンを押し続けると、別のモードに切り替わります。**

②「**MEM**」と現在の日時が表示されたら、すぐにもう一度、操作ボタンを押します。

重要 **すぐに操作ボタンを押さないと、2 秒後に電源が切れます。**

例）血糖値の測定結果

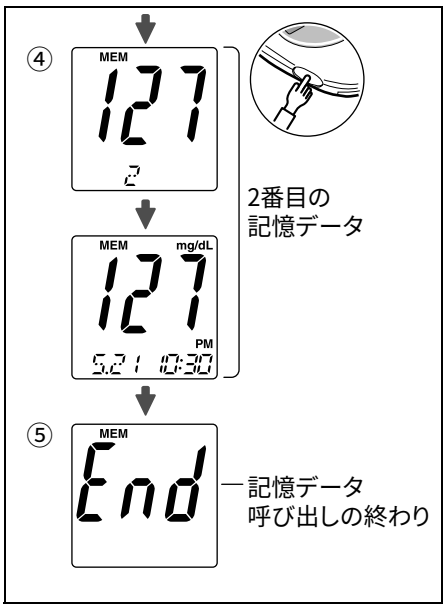


③最新の記憶データが表示されます。表示部の下は「1」と表示されたあと、すぐに測定日時に変わります。

参考 **平均値表示をオンに設定しているときは、最初に平均値（AV E）が表示されます（68ページ参照）。もう一度、操作ボタンを押すと、最新の記憶データが表示されます。**

参考 **記憶データがない場合は、現在の日時（手順②）のあと「End」が表示されます。**

参考 **左図は血糖値の測定結果の表示例です（その他の記憶データの表示：112ページ参照）。**



④次の記憶データを呼び出すには、もう一度、操作ボタンを押します。

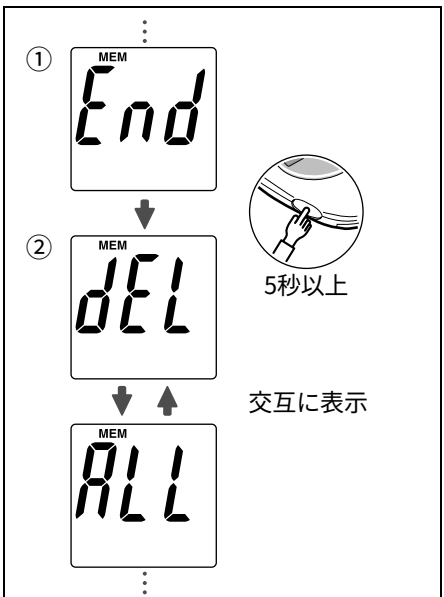
参考 操作ボタンを1回押すたびに、1つ古い記憶データが表示されます。

参考 操作ボタンを押し続けると、記憶データを早送りできます。

⑤最後の記憶データの次は「End」が表示されます。「End」の次は最新の記憶データに戻ります。

参考 操作を終了するには、そのまま3分間待ちます。「ピピッ」とブザーが鳴り、自動的に電源が切れます。

記憶データをすべて消去する

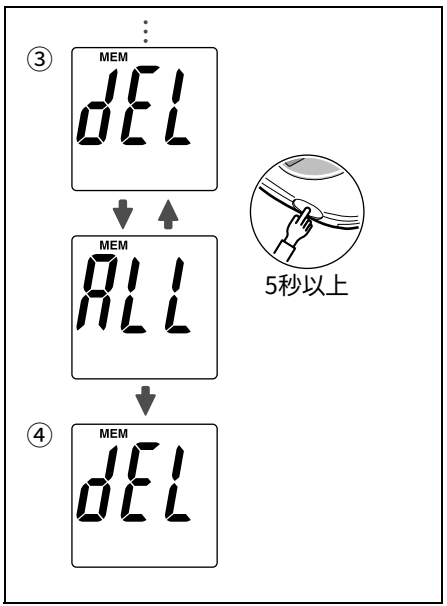


記憶データを一度にすべて消去することができます。

重要 **一度消去した記憶データは、二度と呼び出せません。十分ご注意ください。**

①記憶データを呼び出し、最後の「End」を表示します（44ページ参照）。

②操作ボタンを5秒以上押し続け、「dEL」と「ALL」が交互に表示されたら操作ボタンをはなします。

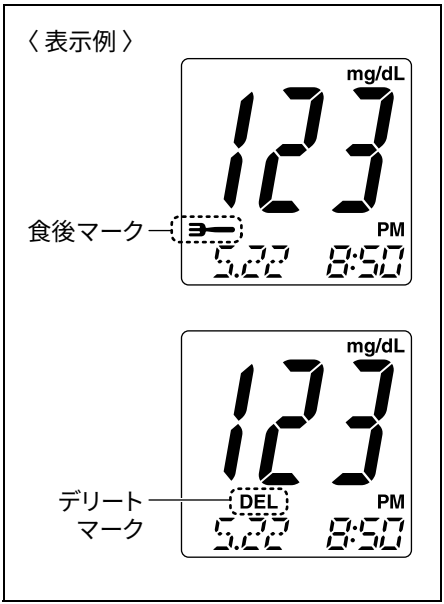


③もう一度、操作ボタンを5秒以上押し続けます。

④「dEL」と表示されます。これで、すべての記憶データが消去されました。

参考　3分後、「ピピッ」とブザーが鳴り、自動的に電源が切れます。

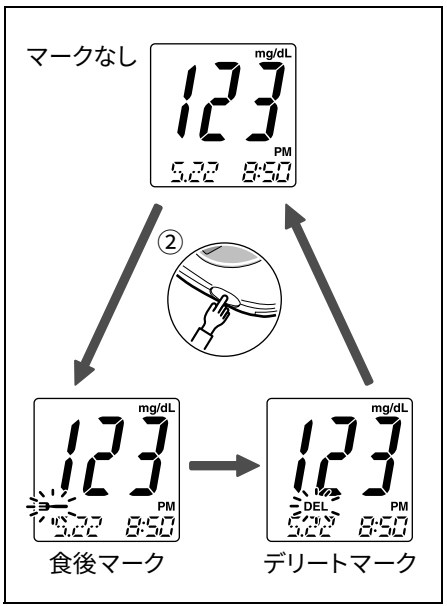
測定結果にマークを付ける



測定結果に食後マーク（ヨ）やデリートマーク（**DEL**）を付けて、グルコカード　G＋メーターに記憶させることができます。これらのマークは記憶データの呼び出し時に表示され、測定結果を区別するのに便利です。

ヨ：食後に測定した測定結果に付けます。

DEL：明らかに正しい測定結果でないと思われる場合に付けます。このマークの測定結果も記憶されますが、平均値の計算には含まれません（68ページ参照）。



①血糖値を測定し、測定結果が表示されたあと（36ページ参照）、Gセンサーを差し込んだままにしておきます。

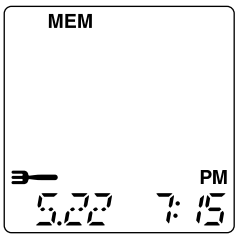
②操作ボタンを押すたびに、マークを切り替えることができます。

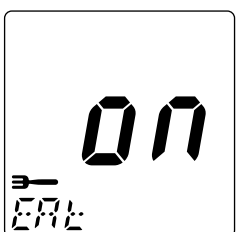
③Gセンサーをはずすと、選択したマークが測定結果に付いてグルコカードG＋メーターに記憶されます。このあと、自動的に電源が切れます。

重要 **一度Gセンサーをはずすと、マークを切り替えることはできません。**

食事開始時刻を記憶させる

〈表示例〉食事開始時刻の呼び出し



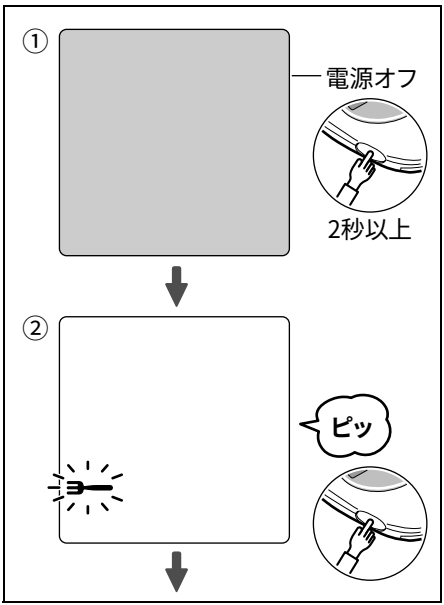


食事開始時刻
記憶：オン

食事開始時刻を記憶させ、食事開始時刻からの経過時間を画面に表示することができます。食後の血糖値を管理するのに大変便利です。記憶した食事開始時刻はあとで呼び出して確認できます。(41ページ参照)。

食事開始時刻を記憶させるには、食事開始時刻記憶機能をオンに設定しておく必要があります（69ページ参照)。

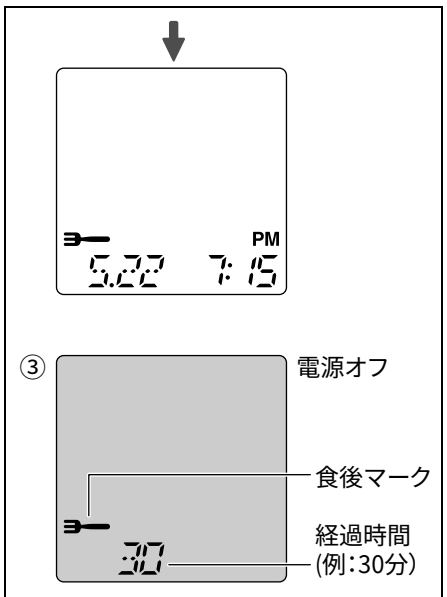
参考 グルコカード　G＋メーターの出荷時にはオフに設定されています。



①電源が切れていることを確認して、操作ボタンを 2 秒以上押し続けます。「ピッ」とブザーが鳴って電源が入り、全表示のあと、食事マーク（ヨー）が点滅します。

②ヨーの点滅中に、もう一度、操作ボタンを押します。

参考 ヨーの点滅中に操作ボタンを押さないまま5秒経過すると、時刻は記憶されずに電源が切れます（アラーム機能がオンの場合、アラーム時刻の設定画面に変わります）。



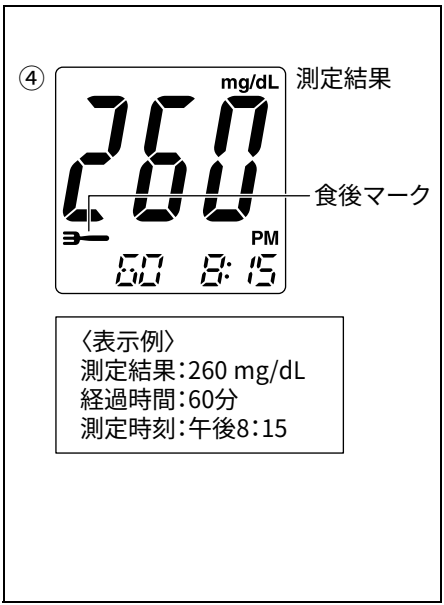
現在の日時が表示されたあと、その日時が記憶され、すぐに電源が切れます。

③電源が切れると、食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。

重要 **経過時間は分単位で表示されます。**

参考 **経過時間が表示されるのは、食事開始時刻から3時間（180分）までです。**

参考 **日付時刻表示がオンのときは、経過時間の右側に現在の時刻が表示されます（107ページ参照）。**

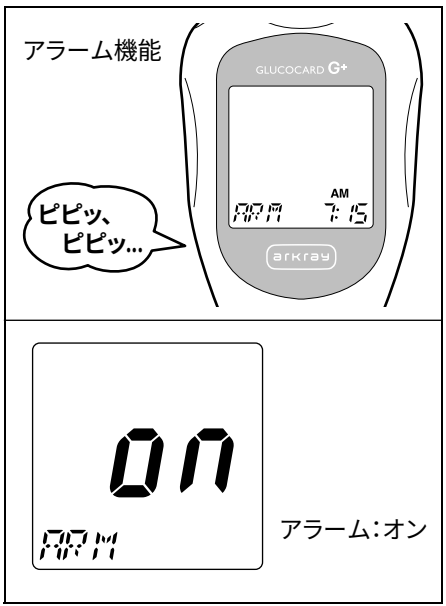


④食事開始時刻を記憶してから3時間（180分）以内に血糖値を測定すると、測定結果の下に食後マーク（ ）と食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。

重要 **経過時間は分単位で表示されます。**

参考 **測定結果をあとで呼び出したとき（41ページ参照）にも、食後マークと経過時間（分）が表示されます。**

アラーム時刻を設定する

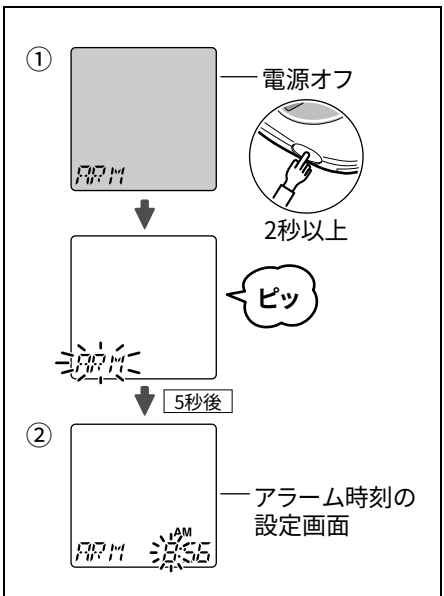


血糖値の測定を忘れないよう、毎日、決まった時間にアラームを鳴らすことができます。アラームは30秒間鳴ります。途中で止めるには操作ボタンを押します。

アラーム時刻を設定するには、アラーム機能をオンに設定しておく必要があります（70ページ参照）。

参考 **アラーム機能がオンに設定されていると、電源が切れているときに「AM」と表示されます。グルコカード　G＋メーターの出荷時にはオフに設定されています。**

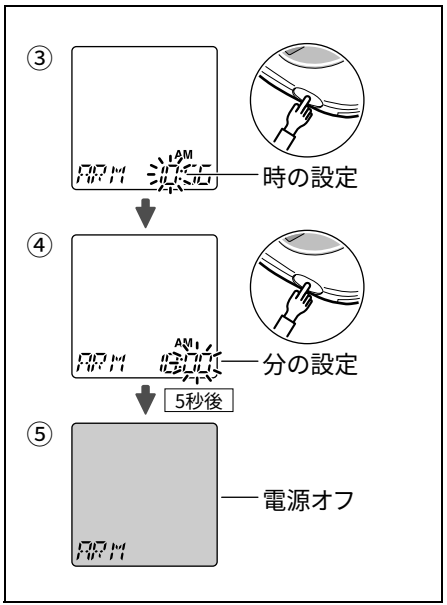
参考 **ブザー音がオフに設定されていると、アラームは鳴りません。**



①電源が切れているのを確認して、操作ボタンを2秒以上押し続けます。「ピッ」とブザーが鳴って電源が入り、全表示のあと、PM が点滅します。

参考 **食事開始時刻記憶機能がオンに設定されている場合は PM ではなく ⊐ が点滅しますが、そのまま手順②へ進みます。**

②5秒後に、アラーム時刻の設定画面に変わります。



③「時」の設定
操作ボタンを押すたびに「1時間」ずつ進みます。設定のあと、5秒後に「分」が点滅します。

④「分」の設定
操作ボタンを押すたびに、「1分」ずつ進みます。

参考 時と分の設定で、操作ボタンを押し続けると数値の早送りができます。

⑤設定のあと5秒後に、アラーム時刻が記憶され、電源が切れます。

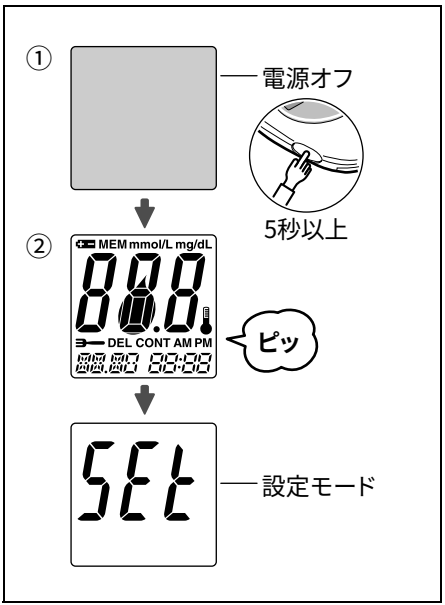
MEMO

各種機能の設定

グルコカード　G＋メーターでは、必要に応じて以下の機能が設定できます。

機能	説明	出荷時
ブザー音	ブザー音の種類を変更します（63ページ参照）。	高い音
日付時刻設定	内蔵時計の日付（年月日）と時刻を合わせます（64ページ参照）。	（設定済み）
時刻表示タイプ	時刻の表示形式（12時間表示と24時間表示）を切り替えます（67ページ参照）。	12時間表示
平均値表示	測定結果の呼び出しの最初に測定結果の平均値を表示できます（68ページ参照）。	オフ
食事開始時刻記憶	食事開始時刻を記憶できるように設定します（69ページ参照）。	オフ
アラーム	アラームが鳴るように設定します（70ページ参照）。	オフ
日付時刻表示	電源が切れているときに、現在の日付と時刻を表示できます（72ページ参照）。	オフ

設定モード（SEt）に切り替える

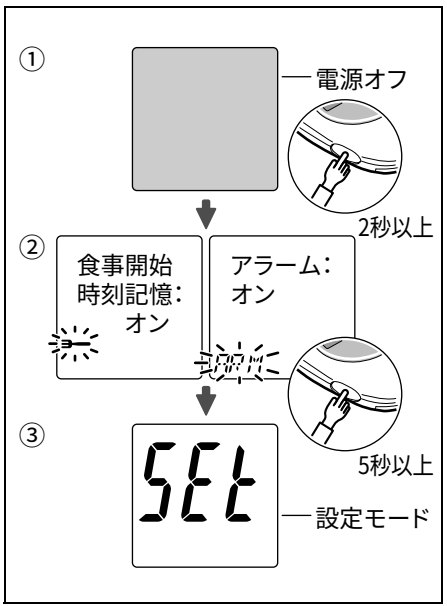


設定モード（SEt表示）に切り替える方法について説明します。

①電源が切れていることを確認して、操作ボタンを5秒以上押し続けます。

②「ピッ」とブザーが鳴って電源が入り、全表示のあと「SEt」が表示されます。

参考 このあと、すぐに「ピピッ」とブザーが鳴り、最初の設定画面（ブザー音の設定画面：buZ）が表示されます。以降、5秒ごとに設定画面が切り替わりますので、必要な設定をしてください（61ページ参照）。



重要 **食事開始時刻記憶またはアラームがオンのときは、以下の手順で設定モードに切り替えます。**

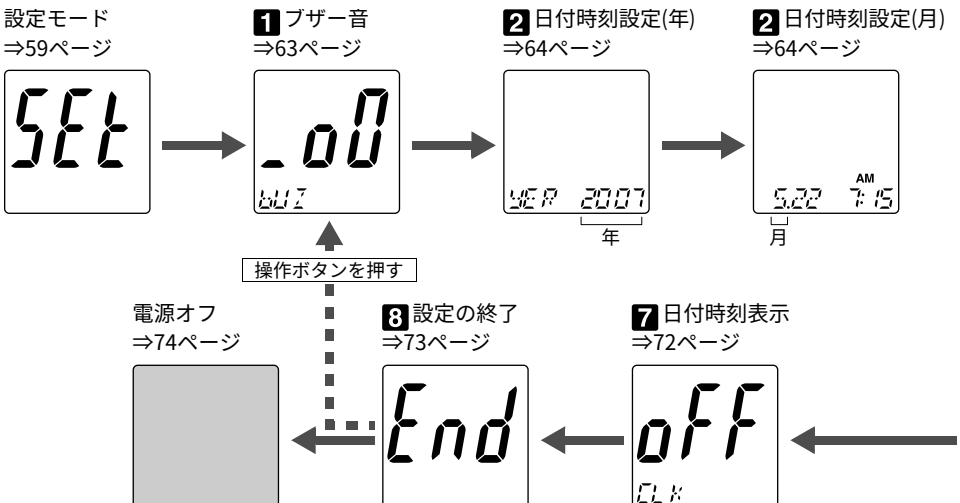
①電源が切れていることを確認し、操作ボタンを2秒以上押し続けます。

②「ピッ」とブザーが鳴って電源が入ります。全表示のあと ⊐⊐ または AM PM が点滅するのを確認し、操作ボタンを5秒以上押し続けます。

③もう一度、「ピッ」とブザーが鳴り、全表示のあと「SET」が表示されます。

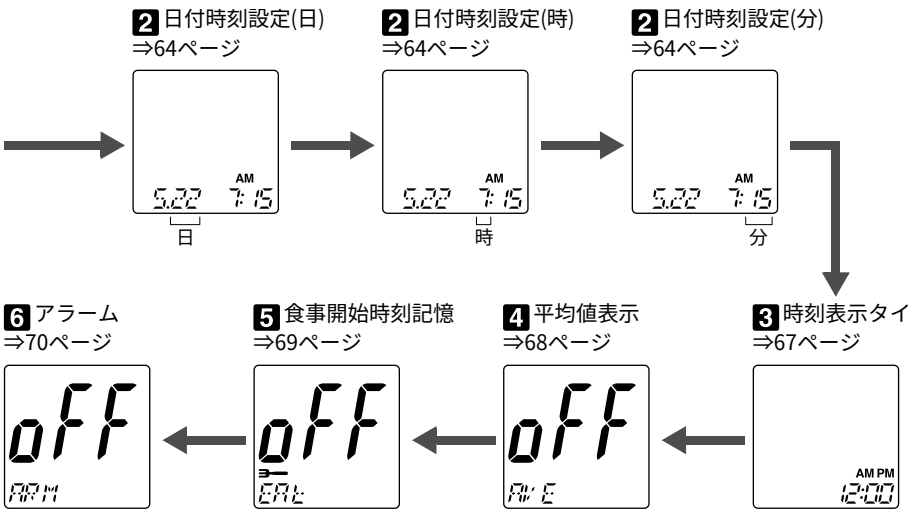
設定画面の流れ

設定モード（SEt表示）に入ると、5秒ごとに設定画面（または設定項目）が以下の順に自動的に切り替わります。

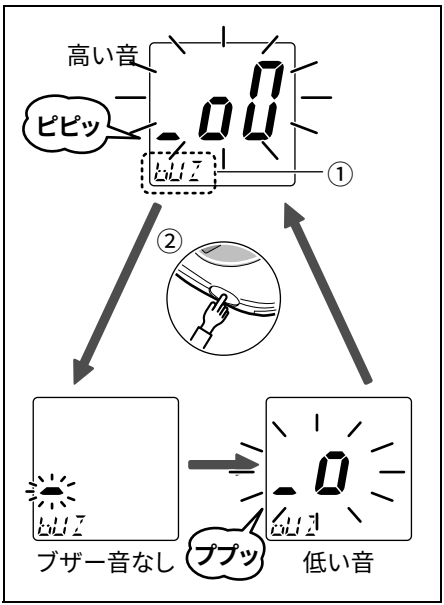


参考 操作ボタンを押して操作しているあいだは設定画面は切り替わりません。

参考 設定モードを終了して電源を切るには、操作ボタンを押さず、最後の「End」までお待ちください。



1 ブザー音の設定



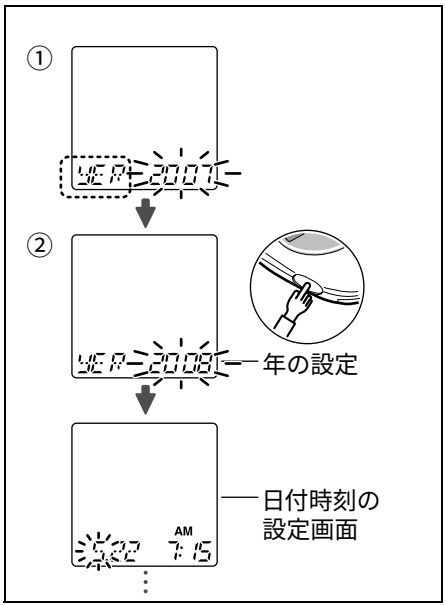
操作中に鳴るブザー音の種類を変更できます。「高い音」「低い音」「オフ（ブザー音なし）」の3種類から選択できます。

①「SEt」が表示されたあと（59ページ参照）、最初の設定画面（左下にbuZ）が表示され、設定されている音でブザー音が1回鳴ります。

②「buZ」の表示中、操作ボタンを押すたびに、設定を変更できます。

参考 設定を終了するには、そのままお待ちください。End のあと電源が切れます。

2 日付時刻の設定

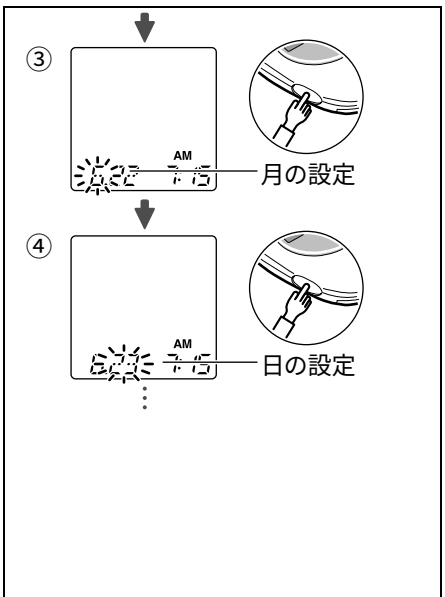


内蔵時計の日付と時刻を合わせます。

①SETを表示してから（59ページ参照）、表示部左下に「YEAR」と表示されるまで待ちます。

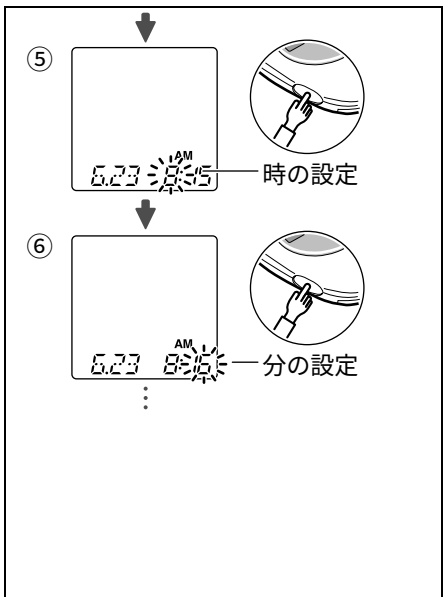
②「年」の設定
「年」の点滅中、操作ボタンを押すたびに「1年」ずつ進みます。設定のあと、5秒後に日付時刻の設定画面が表示されます。

参考「2034」の次は「2005」に戻ります。
参考 年、時、分の設定で、操作ボタンを押し続けると、数値の早送りができます。



③「月」の設定
「月」の点滅中、操作ボタンを押すたびに「1月」ずつ進みます。設定のあと、5秒後に「日」が点滅します。

④「日」の設定
「日」の点滅中、操作ボタンを押すたびに「1日」ずつ進みます。設定のあと、5秒後に「時」が点滅します。



⑤「時」の設定

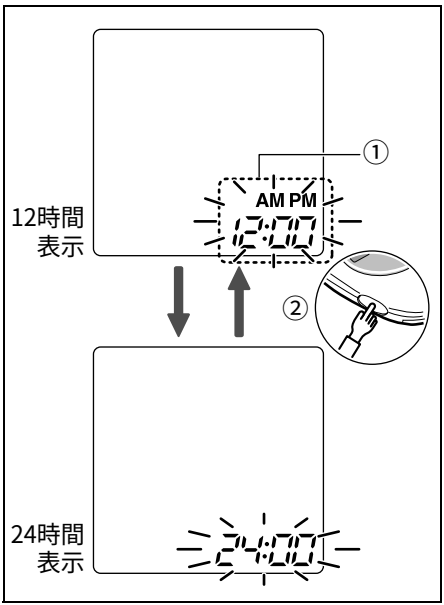
「時」の点滅中、操作ボタンを押すたびに「1時間」ずつ進みます。設定のあと、5秒後に「分」が点滅します。

⑥「分」の設定

「分」の点滅中、操作ボタンを押すたびに「1分」ずつ進みます。

参考 **設定を終了するには、そのままお待ちください。End のあと電源が切れます。**

3 時刻表示タイプの設定



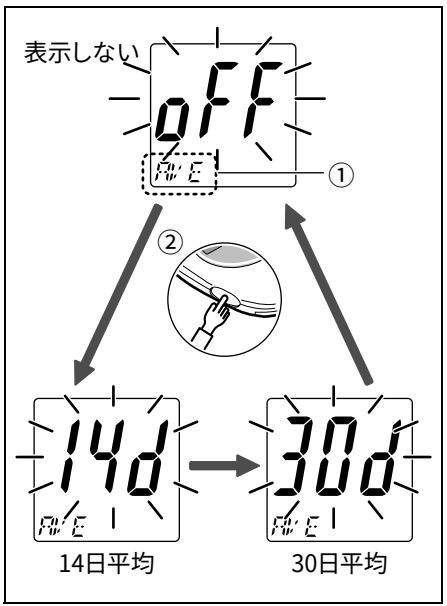
時刻表示タイプ（12時間表示と24時間表示）を変更できます。

①SEtを表示してから（59ページ参照）、表示部右下に「12:00」または「24:00」が点滅するまで待ちます。

②操作ボタンを押すと、設定を変更できます。

参考 設定を終了するには、そのままお待ちください。Endのあと電源が切れます。

4 平均値表示の設定



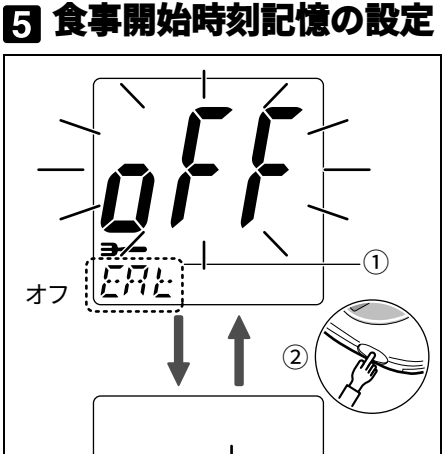
記憶データを呼び出したとき（41ページ参照）、最初に14日間または30日間の測定結果の平均値を表示できます。

①SEtを表示してから（59ページ参照）、表示部左下に「AVE」が表示されるまで待ちます。

②操作ボタンを押すたびに、設定を変更できます。

参考 **設定を終了するには、そのままお待ちください。Endのあと電源が切れます。**

5 食事開始時刻記憶の設定



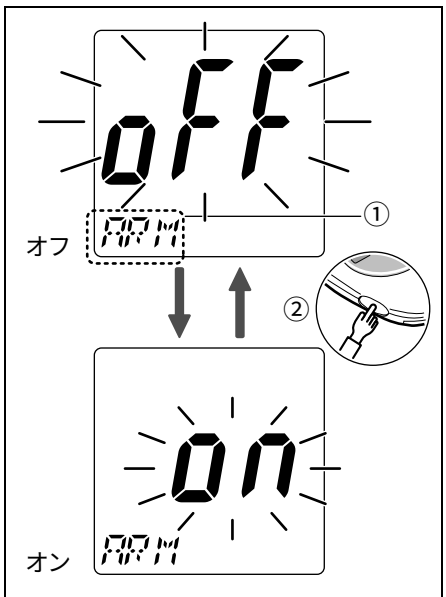
グルコカード　G＋メーターに食事開始時刻を記憶させる（50ページ参照）には、はじめに以下の手順で食事開始時刻記憶機能をオンに設定しておきます。

①SEtを表示してから（59ページ参照）、表示部左下に「CAL」が表示されるまで待ちます。

②操作ボタンを押すと、設定を変更できます。

参考　設定を終了するには、そのままお待ちください。Endのあと電源が切れます。

6 アラームの設定



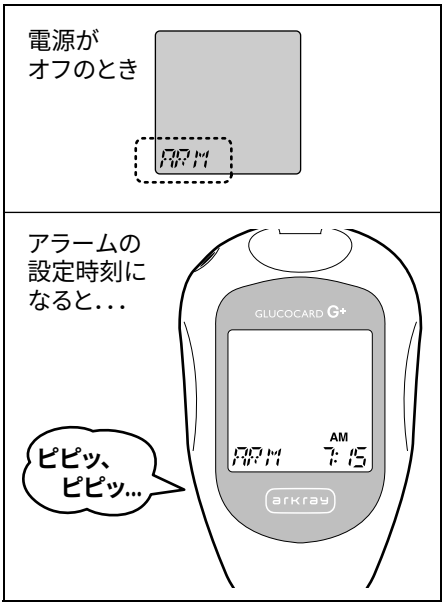
アラームを使用するには、はじめに以下の手順でアラーム機能をオンに設定しておきます。そのあと、アラーム時刻を設定します（54ページ参照）。

①SEtを表示してから（59ページ参照）、表示部左下に「RPM」が表示されるまで待ちます。

②操作ボタンを押すたびに、設定を変更できます。

参考 設定を終了するには、そのままお待ちください。Endのあと電源が切れます。

アラームをオンに設定した場合

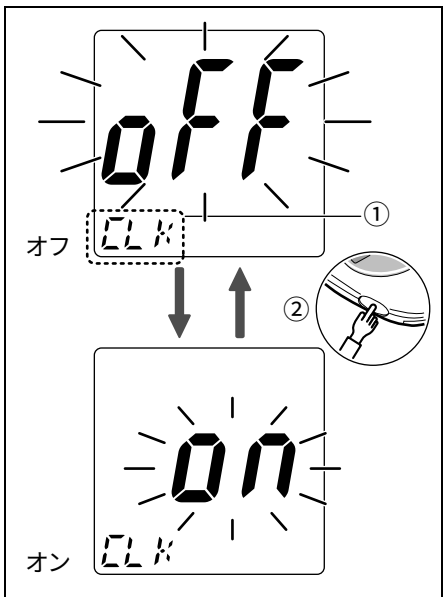


電源が切れているあいだ、表示部に「AM」と表示され、アラームがオンに設定されていることを示します。

設定した時刻になるとアラームが「ピピッ、ピピッ...」と30秒間鳴ります。操作ボタンを押すと、途中でアラームを止めることができます。

参考 **食事開始時刻を記憶してから3時間（180分）以内は、AM は表示されず、食事開始時刻からの経過時間が表示されます。アラームの設定時刻になると左図の画面に変わりアラームが鳴ります。**

7 日付時刻表示の設定



電源が切れているあいだ、表示部に現在の日付と時刻を表示できます。

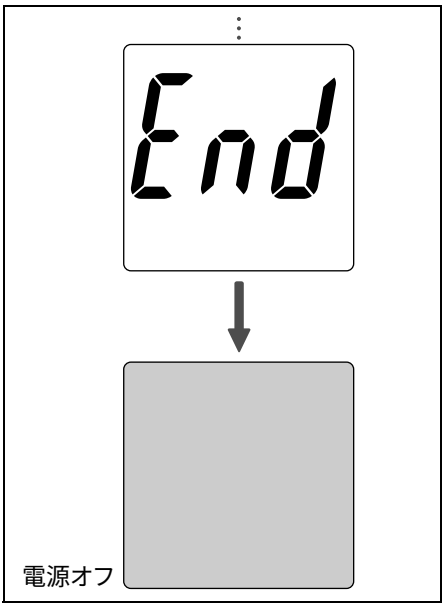
参考 アラームをオンに設定していると（70ページ参照）、この機能は使えません。

①SEtを表示してから（59ページ参照）、表示部左下に「CLK」が表示されるまで待ちます。

②操作ボタンを押すたびに、設定を変更できます。

参考 設定を終了するには、そのままお待ちください。Endのあと電源が切れます。

8 設定の終了



必要な設定が終わったら、操作ボタンを押さず、そのままお待ちください。
最後に「End」が表示されたあと、設定が保存され、自動的に電源が切れます。

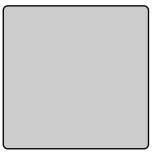
これで設定は完了です。

参考「End」が表示されているあいだに操作ボタンを押すと、ブザー音の設定（63ページ参照）に戻ります。

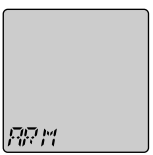
電源が切れているときの表示部

電源が切れているときは、設定に応じて下図のような画面が表示されます。

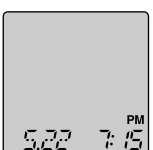
●通常の画面
（何も表示されません）



●アラーム：オン

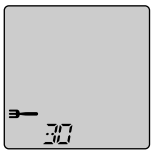


●日付時刻表示：オン
※現在の日付と時刻を表示



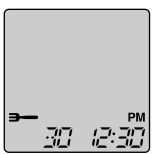
●食事開始時刻記憶機能：オン
※食事開始時刻の記憶後3時間(180分)以内は経過時間を表示

日付時刻表示：オフ

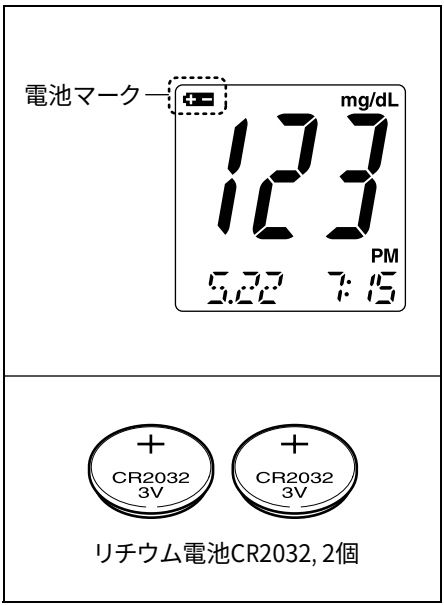


●食事開始時刻記憶機能：オン
※食事開始時刻の記憶後3時間(180分)以内は経過時間を表示

日付時刻表示：オン
※現在の時刻のみ表示



電池を交換する



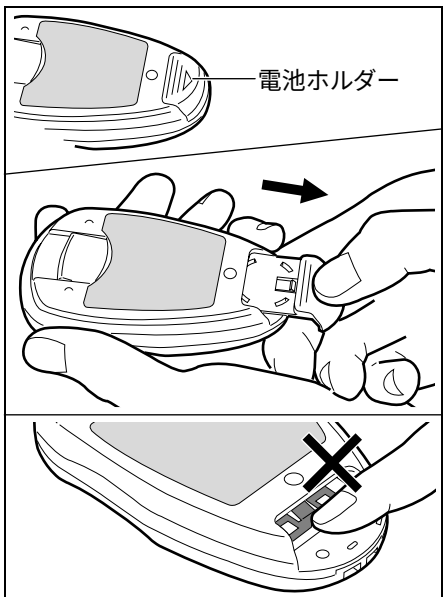
リチウム電池CR2032, 2個

電池が残り少なくなると、電池マーク（ ）が表示されますので、すぐに新しい電池と交換してください。未使用のリチウム電池CR2032を2個準備してください。コンビニエンスストアや電気店で購入できます。

重要 **電池マークが表示されているときに測定を行うと、測定中に電源が切れることがあります。**

参考 **電池の交換は5分以内を目安に完了してください（80ページ参照）。**

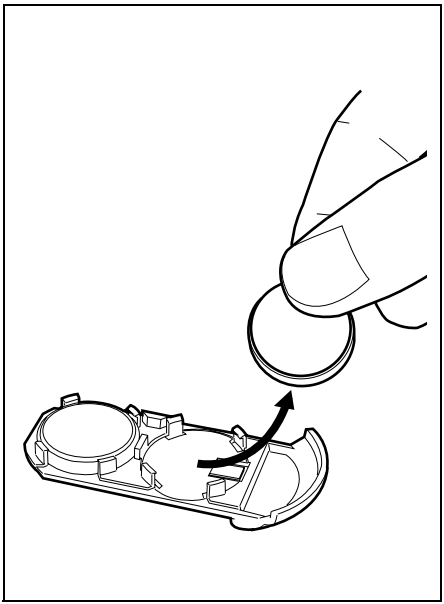
参考 **電池を交換しても、グルコカード　G＋メーターに記憶されている記憶データは消去されません。**



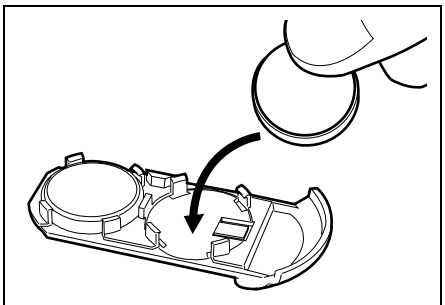
●グルコカード　G＋メーターの裏面にある電池ホルダーを開けます。「▽」の部分を親指で押さえながら下側に引くとはずせます。

注意

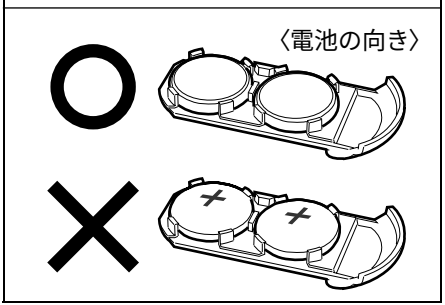
電池ホルダーをはずしたときに現れる金属部分は手や金属で触らないでください。



●電池ホルダーから古い電池を取りはずします。



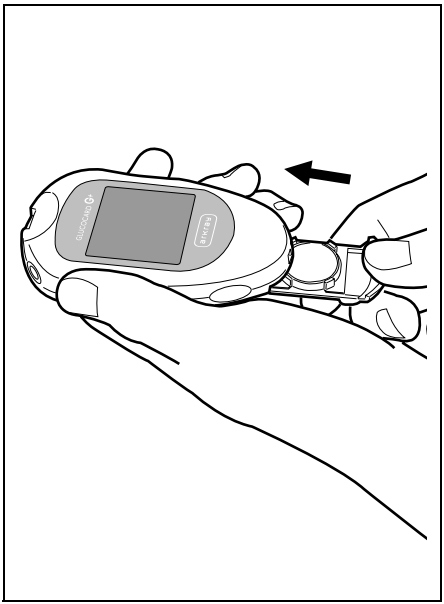
●新しい電池を正しい位置に入れます。



重要 **電池は「＋」と表示された面を下側にして入れます。**

注意

電池を入れる向きを間違えないでください。作動しないだけでなく、日付と時刻がリセットされることがありますので、ご注意ください。



●電池ホルダーを元の位置に差し込みます。カチッと音がすれば、正しくセットされています。

警告

電池は乳幼児の手の届かないところに保管、または廃棄してください。万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

警告

使用済みの電池を加熱したり、火に投げ入れたりしないでください。破裂してけがを負うおそれがあります。

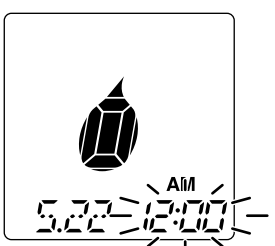
重要 **使用済みの電池は、定められた方法にしたがって廃棄してください。**

時計バックアップ機能について

グルコカード　G＋メーターは時計バックアップ機能により、電池を交換しても内蔵時計（日付時刻の設定）がリセットされないようになっています。時計の設定は約5分間バックアップされますので、電池を交換するときは5分以内を目安に完了すると、交換後の時計の再設定が不要になります。ただし、以下のような場合は5分以内に電池を交換しても、時計がリセットされることがあります。

●電池マーク（ ）が表示されても、すぐに電池を交換しなかった場合
●電池を逆向きに入れ、そのまま5分以上放置した場合

参考 **時計の設定がリセットされると、Gセンサーを差し込んだ時の時刻表示が「0:00」または「12:00」で点滅します。時計の設定をやりなおしてください（64ページ参照）。**



コントロール液を用いた精度確認

定められた濃度値のコントロール液を測定することにより、グルコカード　G＋メーターが正しい測定結果を示しているかどうかを確認します。精度確認は血糖値の測定をするたびに行う必要はありません。以下の条件に当てはまるときに行ってください。

- 血糖値を測定する前に、グルコカード　G＋メーターやGセンサーの性能を確認したいとき
- グルコカード　G＋メーターまたはGセンサーが正常に機能していないと感じるとき
- 測定結果が自覚症状と異なっており、おかしいと感じるとき
- 落下など、グルコカード　G＋メーターに強い衝撃を与えたとき

参考　コントロール液は、グルコカード　G＋メーターには付属していません。販売元までお問い合わせください。

参考　コントロール液の測定結果は、平均値の計算には含まれません（68ページ参照）。

準備するもの

グルコカード　G＋メーター

コントロール液

Gセンサー

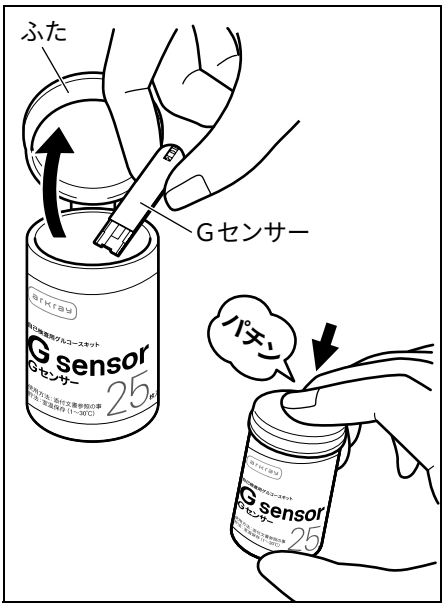
手帳
（自己管理ノートなど）

重要 **20℃～30℃の温度範囲でコントロール液を測定してください。**

重要 **コントロール液に付属の添付文書をよくお読みになってからお使いください。**

参考 **コントロール液は、濃度の違いによりL（低値域）、N（正常域）、H（高値域）の3種類があります。**

1 Gセンサーを取り出す

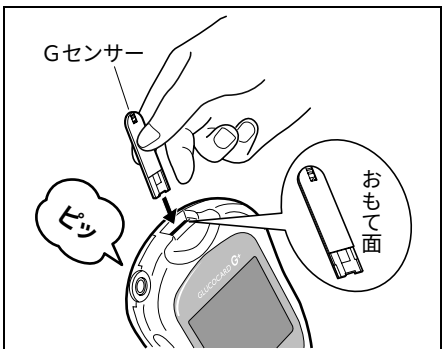


●ボトルのふたを開け、Gセンサーを1枚取り出します。取り出したあとは、すぐにふたを閉めます。

重要 **Gセンサーをボトルから出して長時間放置したり、手で持ったままにしないでください。また、濡れたり汚れたりした手で持たないでください。正しい測定結果が得られません。または、エラーが発生する可能性があります。**

重要 **Gセンサーは湿気に弱いため、ボトルから取り出したらすぐにふたを閉めてください。正しい測定結果が得られなくなります。または、エラーが発生する可能性があります。**

2 Gセンサーを差し込む

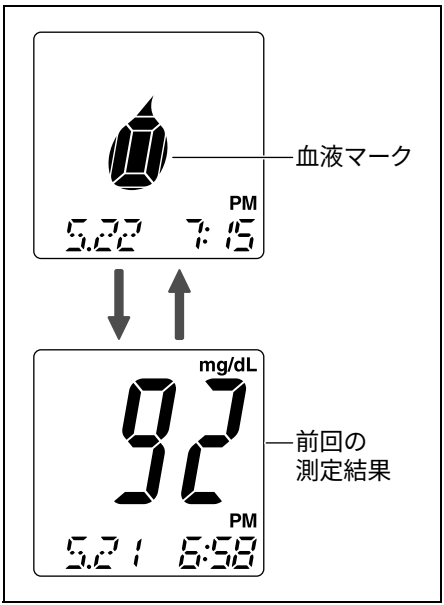


●Gセンサーのおもて面を手前にして、センサー挿入口の奥までしっかりと差しこみます。

●「ピッ」とブザーが鳴って電源が入り、左下図のように表示部が全表示します。

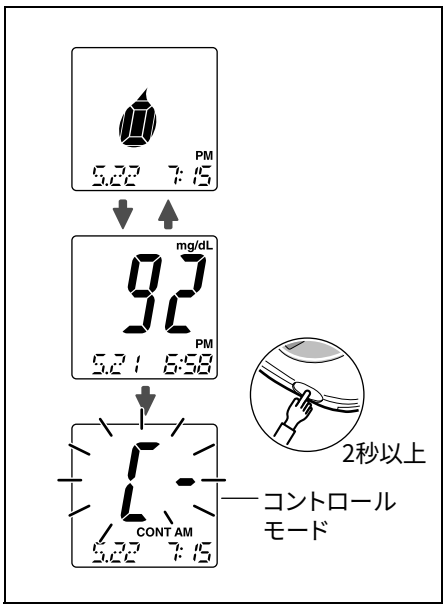
重要 **この画面の表示中は、Gセンサーにコントロール液を接触させないでください。「E-8」が表示され、測定できません。**

3 表示部を確認する



●もう一度、「ピッ」とブザーが鳴り、血液マーク（ ）と前回の測定結果が交互に表示されているのを確認します。

4 コントロールモードに切り替える

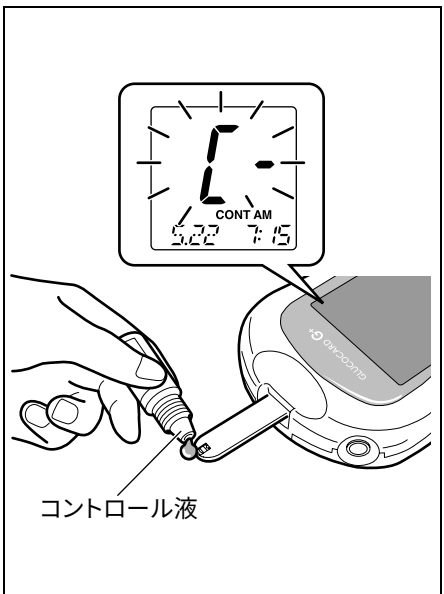


● と前回の測定結果が交互に表示されているあいだに、操作ボタンを2秒以上押し続けます。

● 「C-」が点滅し、**CONT**が表示されます。これでコントロールモードに切り替わりました。

重要 **コントロールモードに切り替えずにコントロール液を測定すると、正しい測定結果が得られません。必ずコントロールモードに切り替えてください。**

5 コントロール液を接触させる

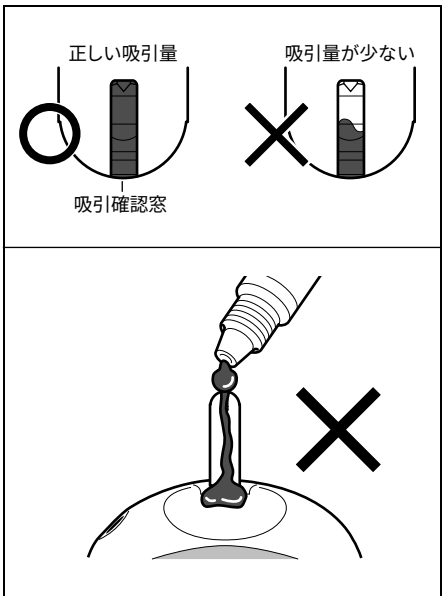


●グルコカード　G＋メーターを机などの上に置きます。

●「[-」の点滅中に、Gセンサーの先端部分にコントロール液を接触させます。

●吸引確認窓の全面が赤くなるまで十分にコントロール液を吸引させます（次ページ最初の **重要** を参照）。

●「ピッ」とブザーが鳴ったら、コントロール液のボトルをはなします。このあと自動的に測定が開始します。



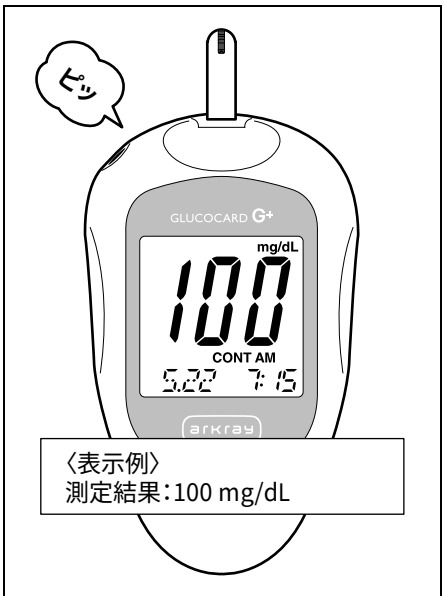
重要 **G センサーの吸引確認窓の全面が赤くなるまで、コントロール液を吸引させてください。**

重要 **コントロール液は、必ずふたをしっかりと閉めて保存してください。ふたがゆるんでいると濃度が変化します。**

重要 **G センサーの先端を上向きにした状態でコントロール液を接触させないでください。液量が多い場合、センサー挿入口から測定器内部にコントロール液が流入し、故障の原因となります。**

参考 **コントロール液に触れても、感染の危険など人への害はありません。**

6 測定結果を判定する



●5.5秒後に「ピッ」とブザーが鳴り、測定結果が表示されます。測定結果がコントロール液の添付文書に記載されている期待値の範囲内であれば、グルコカード　G＋メーターおよびGセンサーは正常です。

重要 **期待値の範囲外の場合は異常がある可能性があります（96ページ参照）。**

参考 **コントロール液の測定結果も手帳（自己管理ノートなど）に記録して精度管理にご利用ください。**

参考 **コントロール液の測定結果も自動的にグルコカード　G＋メーターに記憶されます。**

7 Gセンサーを捨てる

●廃棄レバーをスライドさせ、Gセンサーをはずします。電源が自動的に切れます。

参考 コントロール液に触れても、感染の危険など人への害はありません。

操作方法に困ったときは

グルコカード　G＋メーターのご使用中に「故障かな？」と思ったときや、操作方法に困ったときにお読みください。お読みになっても問題が解決しないときは、販売元にお問い合わせください。

質問1 ：血液を接触させても測定が開始しないときは？ P93
質問2 ：測定結果がおかしいと感じるときは？ P94
質問3 ：Gセンサーを差し込んでも表示が出ないとき、
またはすぐに消えるときは？ P95
質問4 ：コントロール液を測定した結果が期待値の範囲内に
入らないときは？ P96
質問5 ：測定結果が「Hi」または「Lo」と表示されるときは？ P97
質問6 ：エラー番号（例: E-1）が表示されるときは？ P97
質問7 ：時刻表示（0:00 または 12:00）が点滅するときは？ P98
質問8 ：電池マーク（ ）が表示されるときは？ P98
質問9 ：温度エラーマーク（ ）が表示されるときは？ P99

質問10：ブザー音が鳴らないときは？ P100
質問11：平均値が表示されないときは？ P100
質問12：食事開始時刻の記憶ができないときは？ P101
質問13：食事開始時刻からの経過時間が表示されないときは？.....P102
質問14：アラームが使用できないときは？.....P103
質問15：電源が切れているときに日付時刻が表示されないときは？ P104

質問1：血液を接触させても測定が開始しないときは？

以下のことを確認してください。

●血液またはコントロール液を一度吸引させたGセンサーを再度使用していませんか？

●Gセンサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込んでいますか？⇒27ページ参照

●血液マーク（ ）と前回の測定結果が交互に表示されているあいだに、血液を接触させましたか？⇒28ページ参照

●Gセンサーの先端に正しく血液を接触させていますか？⇒33〜34ページ参照

質問2：測定結果がおかしいと感じるときは？

以下のことを確認してください。

●血液またはコントロール液を一度吸引させたGセンサーを再度使用していませんか？

●Gセンサーの使用期限が過ぎていませんか？

●Gセンサーのボトルを開封してから3ヶ月を経過していませんか？

●Gセンサーのボトルのふたを長時間開けたままにしませんでしたか？

●温度エラーマーク（ ）が表示されていませんか？⇒99ページ参照

●グルコカード　G＋メーターが、使用する場所の温度や湿度に十分なじんでいますか？

●Gセンサーの先端に正しく血液を接触させていますか？⇒33～34ページ参照

●コントロール液を使って精度確認をしてください。⇒81～90ページ参照

質問3：Gセンサーを差し込んでも表示が出ないとき、またはすぐに消えてしまうときは？

以下のことを確認してください。

●Gセンサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込んでいますか？⇒27ページ参照

●電池は正しく入っていますか？⇒78ページ参照

●電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換してください。⇒75～79ページ参照

質問4：コントロール液を測定した結果が期待値の範囲内に入らないときは？

以下のことを確認してください。

●コントロールモードに切り替えてから測定しましたか？⇒86ページ参照
●血液またはコントロール液を一度吸引させたGセンサーを再度使用していませんか？
●Gセンサーまたはコントロール液の使用期限が過ぎていませんか？
●Gセンサーのボトルを開封してから3ヶ月を経過していませんか？
●Gセンサーのボトルのふたを長時間開けたままにしませんでしたか？
●コントロール液のふたを開けたまま、またはふたをしっかり閉めないまま、長時間放置しませんでしたか？
●温度20℃～30℃の範囲以外でコントロール液を測定しませんでしたか？
⇒コントロール液の添付文書を参照してください。

質問5：測定結果が「Hi」または「Lo」と表示されるときは？

●血糖値が600 mg/dLより高いときは「Hi」、10 mg/dLより低いときは「Lo」と表示されます。新しいGセンサーを使って、測定をやり直してください。それでも同じ表示がでるときは、症状がいちじるしく悪化している可能性があります。すぐにかかりつけの医師に相談してください。

質問6：エラー番号（例: E - 1）が表示されるときは？

●表示されたエラー番号の解説をお読みください。⇒122～124ページ参照

質問7：時刻表示（0:00 または 12:00）が点滅するときは？

●内蔵時計がリセットされています。日付時刻の設定をやりなおしてください。
⇒64〜66ページ参照

質問8：電池マーク（+ −）が表示されるときは？

●電池が残り少なくなりました。すぐに新しい電池（CR2032, 2個）と交換してください。⇒75〜79ページ参照

質問9：温度エラーマーク（🌡）が表示されるときは？

●グルコカード　G＋メーターの機器温度が0～10℃の範囲にあります。この温度範囲での測定値は、適正温度での測定値と比べて精度が低くなりますので、参考値としてください。

●正しい測定値を得るには、グルコカード　G＋メーターとGセンサーを温度10℃～40℃の場所に置き、20分～30分以上なじませてください。温度エラーマーク（🌡）が表示されなくなったことを確認して、測定をやりなおしてください。⇒12ページ参照

重要 **温度エラーマーク（🌡）が表示されたまま測定すると、測定結果に温度エラーマークがつきます。この測定結果もグルコカード　G＋メーターに記憶されますが、平均値の計算には含まれません。**

質問10：ブザー音が鳴らないときは？

●ブザー音がオフに設定されていませんか？ブザー音を鳴らしたい場合は、ブザー音を「 _oN （高い音）」または「 _o （低い音）」に設定してください。⇒63ページ参照

質問11：平均値が表示されないときは？

●平均値表示機能がオフに設定されていませんか？（グルコカード　G＋メーターの出荷時にはオフに設定されています）。平均値を表示したい場合は、「14d」または「 30d 」に切り替えてください。⇒68ページ参照

質問12：食事開始時刻の記憶ができないときは？

●食事開始時刻記憶機能がオフに設定されていませんか？（グルコカード　G＋メーターの出荷時にはオフに設定されています）。食事開始時刻を記憶させたい場合は、食事開始時刻記憶機能をオンに切り替えてください。⇒69ページ参照

参考　食事開始時刻機能をオンに設定したあと、食事開始時刻を記憶させてください（50ページ参照）。

質問13：食事開始時刻からの経過時間が表示されないときは？

●食事開始時刻を記憶してから3時間を超えていませんか？経過時間が表示されるのは食事開始時刻を記憶してから3時間以内です。⇒50ページ参照

●内蔵時計がリセットされていませんか？日付時刻の設定をやりなおしてから食事開始時刻を記憶させてください。⇒64～66ページ参照

●食事開始時刻を記憶させたあとに日付時刻の設定を変更していませんか？食事開始時刻を記憶させてから3時間以内に日付時刻の設定を変更すると、経過時間は表示されなくなります。

●食事開始時刻を記憶させたあと記憶データを消去していませんか？食事開始時刻を記憶してから3時間以内に記憶データを消去すると、経過時間は表示されなくなります。

質問14：アラームが使用できないときは？

●内蔵時計がリセットされていませんか？日付時刻の設定をやりなおしてからアラームを設定してください。⇒64～66ページ参照

●アラーム機能がオフに設定されていませんか？（グルコカード　G＋メーターの出荷時にはオフに設定されています）。アラームを使用したい場合は、アラーム機能をオンに切り替えてください。⇒70ページ参照

参考　アラーム機能がオンに設定されていても、ブザー音がオフに設定されていると、アラームは鳴りません（63ページ参照）。

質問15：電源が切れているときに日付時刻が表示されないときは？

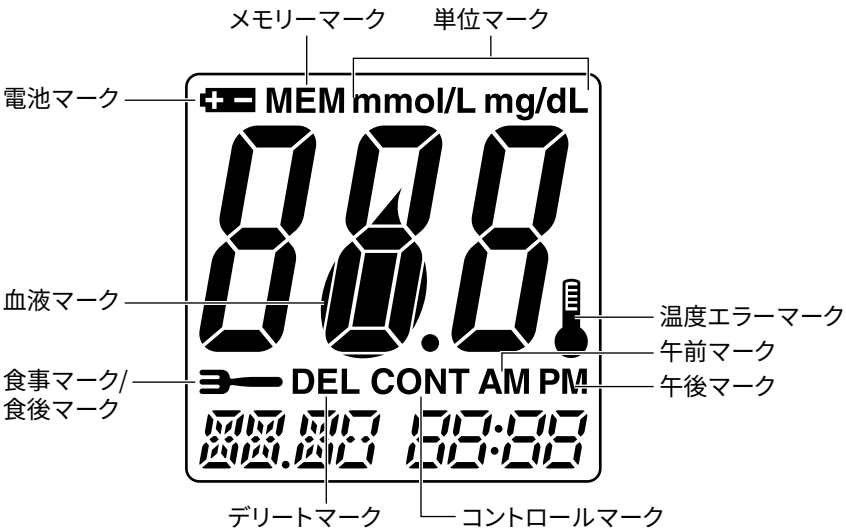
●内蔵時計がリセットされていませんか？その場合は、日付時刻の設定をやりなおしてください。⇒64～66ページ参照

●日付時刻表示機能がオフに設定されていませんか（グルコカード　G＋メーターの出荷時にはオフに設定されています）。日付時刻を表示したい場合は、日付時刻表示機能をオンに切り替えてください。⇒72ページ参照

●アラーム機能がオンに設定されていませんか？アラームをオンに設定していると、日付時刻表示機能は使えません。⇒70～71ページ参照

105 表示部に表示される記号・マーク

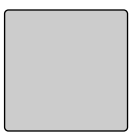
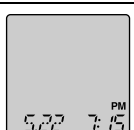
グルコカード　G＋メーターに表示される記号やマークについて説明します。

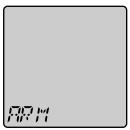
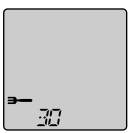


電源が入ったとき

表示	解説
	全表示：センサー挿入口にGセンサーを差しこんだり、操作ボタンを押したりして電源が入ると、最初にこの画面が表示され、グルコカード　G＋メーターの自動チェックが行われます。

電源が切れているとき

表示	解説
	全消灯：電源が切れているときは、通常は何も表示されません。
	日付時刻表示：日付時刻表示機能をオンに設定しているときは、電源が切れているあいだ、現在の日付と時刻が表示されます（72ページ参照）。

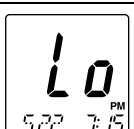
表示	解説
	アラーム表示：アラーム機能をオンに設定しているとき（70ページ参照）は、電源が切れているあいだ、「AP M」が表示されます。アラームの設定時刻になると、「ピピッ、ピピッ・・・」とアラームが30秒間鳴ります。操作ボタンを押すと、途中でアラームを止めることができます。
	経過時間表示：食事開始時刻を記憶させたあと（50ページ参照）、電源が切れると、食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。経過時間は、食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）表示されます。
	経過時間表示と日付時刻表示：上記「経過時間表示」に加え、日付時刻表示機能をオンに設定している場合は（72ページ参照）、経過時間の右側に現在の時刻が表示されます。

血糖値の測定中（正常時）⇒25～40ページ参照

表示	解説
 	血液マークと前回測定結果の交互表示：Gセンサーに血液を吸引させるタイミングを示します。前回の測定結果がない場合は、血液マーク（ ）と単位「**mg/dL**」が交互に表示されます。
	カウントダウン：測定中であることを表わし、測定完了までの時間（4～1秒）が表示されます。
	測定結果：血糖値の測定結果です。 **参考 左図の数値は例です（血糖値が118 mg/dLの場合）。**

表示	解説
	測定結果：食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）以内に血糖値を測定すると、測定結果の下に食後マークと食事開始時刻らの経過時間（分）が表示されます。 **参考 左図の数値は例です（血糖値：260 mg/dL、経過時間：60分、測定時刻：午後8:15の場合）。**

血糖値の測定中（異常時）

表示	解説
	「Hi」：血糖値が600 mg/dLより高いときに表示されます。新しいGセンサーを使って、測定をやり直してください。それでも同じ表示が出るときは、すぐにかかりつけの医師に相談してください。
	「Lo」：血糖値が10 mg/dLより低いときに表示されます。新しいGセンサーを使って、測定をやり直してください。それでも同じ表示が出るときは、すぐにかかりつけの医師に相談してください。

表示	解説
	電池マーク（ ）：電池が残り少なくなりました。すぐに新しい電池（CR2032, 2個）と交換してください（75～79ページ参照）。 **重要 電池マークが表示されているときに測定を行うと、測定中に電源が切れることがあります。**
	温度エラーマーク（ ）：グルコカード　G＋メーターの機器温度が0～10℃の範囲にあります。この温度範囲での測定結果は精度が低くなりますので参考値としてください。正しい測定結果を得るには、10～40℃の場所で20～30分以上なじませてください（99ページ参照）。

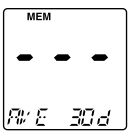
測定結果に付けるマーク ⇒47～49ページ参照

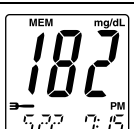
表示	解説
	食後マーク（ ）：測定結果の表示中に操作ボタンを押すと表示されます。このマークは、食後の測定結果に付けます。
DEL	デリートマーク（**DEL**）：測定結果の表示中に操作ボタンを2回押すと表示されます。このマークを付けた測定結果は、平均値の計算に含まれなくなります。明らかに正しい測定結果でないと思われる場合に付けてください。

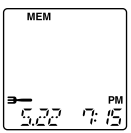
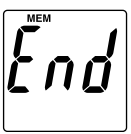
食事開始時刻の記憶中 ⇒50ページ参照

表示	解説
	食事マーク（ ）：食事開始時刻記憶機能をオンに設定している場合（69ページ参照）、電源が切れている状態で操作ボタンを2秒以上押すと、このマークが点滅します。このとき、操作ボタンを押すと、現在の時刻を記憶させることができます。食事をはじめる時刻などを記憶させて、血糖値管理にご利用ください。

記憶データの呼び出し中・消去中 ⇒41～46ページ参照

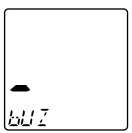
表示	解説
	日付時刻表示：電源が切れているときに、操作ボタンを押すと、現在の日付と時刻が表示され、このあと記憶データが呼び出されます。
	平均値表示：最近14日または30日間の測定結果の平均値です。平均値は、平均値表示機能をオン（「14d」または「30d」）に設定している場合にかぎり、最新の記憶データの前に表示されます。 **参考 左図の数値は例です（最近30日間の測定結果の平均値が123 mg/dLの場合）。**
	平均値表示（データなし）：平均値表示機能をオン（「14d」または「30d」）に設定していますが、最近14日または30日間に記憶された測定結果がないことを示します。
	記憶データ（測定結果、順番）：過去の測定結果が表示されます。表示部の1番下の数字は記憶データの順番を表わします。「1」が最新の記憶データです。

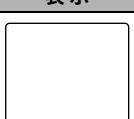
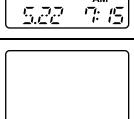
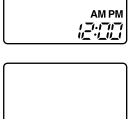
表示	解説
	記憶データ（測定結果、測定日時）：左ページの「記憶データ（測定結果、順番）」が表示されたあと、表示部の下が測定日時に変わります。 **参考 左図の数値は例です（血糖値が101 mg/dLの場合）。**
	記憶データ（経過時間）：食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）以内の測定結果には、食後マークと食事開始時刻からの経過時間（分）があわせて表示されます **参考 左図の数値は例です（血糖値：260 mg/dL、経過時間：60分、測定時刻：午後8:15の場合）。**
	記憶データ（食後）：食後マーク（ ）を付けて記憶させた測定結果には「 」が表示されます。食後の測定結果であることを示します。

表示	解説
	記憶データ（DEL）：デリートマーク（**DEL**）を付けて記憶させた測定結果には「**DEL**」が表示されます。この記憶データは平均値の計算に含まれません。
	記憶データ（**CONT**）：コントロール液を測定したときの記憶データです。このデータは平均値の計算に含まれません。
	記憶データ（食事開始時刻）：食事開始時刻の記憶データには食事マーク（ ）と時刻のみが表示されます。
	「End」：すべての記憶データ（最大450件）の呼び出しが終わったことを示します。

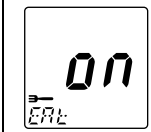
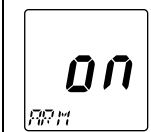
表示	解説
 	記憶データ消去の確認：「dEL」と「ALL」が交互に表示されます。この表示中に操作ボタンを5秒以上押すと記憶データがすべて消去され、「dEL」が表示されます。

設定モードでの操作中 ⇒58～74ページ参照

表示	解説
	「SEt」：設定モードに入りました。このあと、5秒ごとに設定画面が切り替わります（59～60ページ参照）。
 	ブザー音の設定：ブザー音の設定ができます（63ページ参照）。操作ボタンを押すたび、「 （ブザー音なし）」、「 （低い音）」、「 （高い音）」に切り替わります。 **参考 出荷時には「 （高い音）」に設定してあります。**

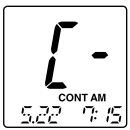
表示	解説
	「年」の設定：「年」の設定ができます（64ページ参照）。操作ボタンを押すたびに１年ずつ進みます。2005～2034の範囲で設定できます。 **参考 操作ボタンを押し続けると、数値の早送りができます。**
	「月」「日」「時」「分」の設定：日時の設定ができます（65～66ページ参照）。操作ボタンを押すたびに、点滅している箇所の数値が１ずつ進みます。5秒ごとに「月」「日」「時」「分」の順に設定できます。 **参考 操作ボタンを押し続けると、数値の早送りができます。**
 	時刻表示タイプの設定：時刻の表示方法を12時間表示（AM,PM）または24時間表示から選択できます（67ページ参照）。操作ボタンを押すたびに、12：00と24：00が切り替わります。

表示	解説
   	平均値表示機能の設定：測定結果の平均値表示が設定できます（68ページ参照）。操作ボタンを押すたびに、「oFF（平均値なし）」、「14d（14日間の平均値）」、「30d（30日間の平均値）」が切り替わります。「14d」または「30d」に設定すると、記憶データを呼び出したときに、最初に平均値が表示されます。 **参考 出荷時には「oFF」に設定してあります。**

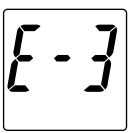
表示	解説
 	食事開始時刻記憶機能の設定：食事開始時刻記憶の設定ができます（69ページ参照）。操作ボタンを押すたびに、「on（食事開始時刻記憶機能を使う）」と「oFF（食事開始時刻記憶機能を使わない）」が切り替わります。 **参考 出荷時には「oFF」に設定してあります。**
 	アラーム機能の設定：アラームの設定ができます（70ページ参照）。操作ボタンを押すたびに、「on（アラームを使う）」と「oFF（アラームを使わない）」が切り替わります。 **参考 出荷時には「oFF」に設定してあります。**

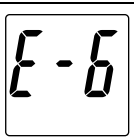
表示	解説
 	日付時刻表示機能の設定：日付時刻表示の設定ができます（72ページ参照）。操作ボタンを押すたびに、「on（表示あり）」と「oFF（表示なし）」が切り替わります。 **参考 出荷時には「oFF」に設定してあります。**
	「End」：設定モードが終了しました（73ページ参照）。しばらくすると自動的に電源が切れます。

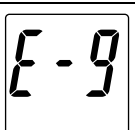
コントロール液の測定中 ⇒81〜90ページ参照

表示	解説
	コントロールモード表示：コントロール液の測定ができます。Gセンサーにコントロール液を接触させてください。
	コントロール液の測定結果：コントロール液の測定結果です。この測定結果も記憶されますが、平均値の計算には含まれません。

エラーの原因と対応方法

表示	原因	こうしてください
	グルコカード　G＋メーターが故障しています。	販売元にお問い合わせください。
	測定温度の範囲外です。	温度10～40°Cの場所にグルコカード　G＋メーターとGセンサーを移し、20～30分以上なじませてから測定をやりなおしてください。それでも「E-2」が表示されるときは販売元にお問い合わせください。
	グルコカード　G＋メーターが故障しています。	販売元にお問い合わせください。

表示	原因	こうしてください
 	1. グルコカード　G ＋メーター内が結露している可能性があります。 2. グルコカード　G ＋メーターが故障しています。	温度10～40℃、湿度20～80％の場所にグルコカード　G＋メーターとGセンサーを移し、20～30分以上放置してから測定をやりなおしてください。それでも「E-4」「E-5」が表示されるときは販売元にお問い合わせください。
	1. G センサーを裏向きに挿入しました。 2. Gセンサーの挿入部分（電極）に水やアルコールが付着するなど汚れている可能性があります。	1. Gセンサーの表裏を確認して、正しい向きで差し込んでください。 2. 新しいGセンサーを使用して、測定をやりなおしてください。

表示	原因	こうしてください
	1. 挿入されたセンサーが正しくありません。 2. Gセンサーの挿入部分（電極）に水やアルコールが付着するなど汚れている可能性があります。	1. 正規の G センサーを挿入してください。 2. 新しい G センサーで測定をやりなおしてください。 **重要** **仕様変更前の G センサーを挿入した場合も「E-7」が表示されます。仕様変更後のGセンサーを使用してください。**
	1. 血液またはコントロール液を一度吸引させたGセンサーが挿入されました。 2. 血液マークと前回測定結果が交互に表示される前に、血液を吸引させました。	1. 新しい G センサーで測定をやりなおしてください。 2. 新しい G センサーで測定をやりなおしてください。
	1. G センサーに吸引させる血液の量が不足しました。 2. G センサーの先端に血液が接触しませんでした。	新しいGセンサーを使用して、十分な量の血液を吸引させてください（33～34ページ参照）。

仕様

名称	自己検査用グルコース測定器 グルコカード　G＋メーター
型式	GT-1820
測定項目	血液中のグルコース
必要検体量	全血0.6 μL
使用センサー	自己検査用グルコースキット Gセンサー
測定範囲	10～600 mg/dL
測定時間	点着検知後5.5 秒
温度補正	内蔵温度センサーによる自動補正
外部入出力	通信用外部入出力端子1個[*1]
電池	3V リチウム電池CR2032（Panasonic製推奨）、2個
電池寿命	約2000回以上 **重要 使用方法によって測定可能回数が少なくなることがあります。**
電池寿命表示	電池マーク表示
消費電力	0.03W（最大）
記憶データ数	450測定

時計精度	誤差±80秒／月
使用環境	温度：10～40℃、湿度20～80%（結露しないこと）
外形寸法	53×88×18（mm）
重量	約50 g
付属品	取扱説明書（1部）、添付文書（1部）、 保証書・保証書登録カード（1部）、個人情報保護シール（1枚）、 収納ケース（1個）、リチウム電池CR2032（2個、装填済）

＊1：専用ソフトウェアを使ったパソコンでのデータ管理ができます。詳しくは販売元にお問い合わせください。

参考 グルコカード　G＋メーターは電池を装填して出荷しておりますので、すぐに測定を開始していただけます。ただし、出荷時に装填された電池はサンプル用のため、記載の電池寿命を保証できません。

参考 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証規定

グルコカード　G＋メーター（GT-1820）の保証期間は、ご購入後3年間です。保証期間中に故障した場合には、良品と交換いたしますので、必ず保証書を添付してください。ただし、次の場合は保証期間内であっても交換の対象となりません。

1. 使用上の不注意による故障ならびに損傷等
2. 天災・地変等の不測の出来事による故障ならびに損傷
3. 独自の修理・調整・改造等による故障
4. その他、製造販売元の責によらない故障ならびに損傷

重要 **保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。**

画面・表示

12:00 67
24:00 67
ALL 45, 115
AM/PM 55, 70, 107
AVE 68, 112
BUZ 63
C- 86
CLK 72
CONT 86, 114
dEL 45, 115
E-1～E-9 122
ERR 69
End 44, 73, 114, 120
Hi 109
Lo 109
SET 59, 116
YEAR 64

あ行

アラーム時刻の設定 54
アラームの設定 70, 119
温度エラーマーク（） 110

か行

外部入出力端子 20
記憶データの消去 45, 112
記憶データの呼び出し 41, 112
血液マーク（ ） 28, 108
血糖値の測定 25, 108, 109
コントロール液の測定 81, 121
コントロールモード 86, 121

さ行

採血器具 24
採血針 24
Gセンサー 23
時刻表示タイプの設定 67, 117
食後マーク（ ） 47, 111, 113

食事開始時刻記憶の設定 69, 119
食事開始時刻の記憶 50, 111
食事マーク（）..... 51, 111, 114
精度確認 81
設定モード 59, 116
センサー挿入口 20
操作ボタン 20
測定 25
測定結果 36, 108, 121

た行

デリートマーク（DEL）..... 47, 111, 114
電源が切れているとき 106
電源が切れているときの表示部 74
電源が入ったとき 106
電池の交換 75
電池ホルダー 20
電池マーク（ ）..... 75, 110
時計バックアップ機能 80

は行

廃棄レバー 20
日付時刻の設定 64, 117
日付時刻表示の設定 72, 120
表示部 20, 105
ブザー音の設定 63, 116
平均値表示 112
平均値表示の設定 68, 118

ま行

マーク 47, 111

製造販売元
パナソニック ヘルスケア株式会社
東京都港区西新橋2-38-5　西新橋MFビル

販売元
アークレイ株式会社
京都市南区東九条西明田町57

・製品のお問合せは

アークレイ コールセンター
フリーダイヤル 0120-81-1955
6:00～22:00 (年中無休)

2012年4月改訂　83-01374D